

ヤマハニュース 12

YAMAHA NEWS No.354 1992

特集●ショップの個性を光らせる——2

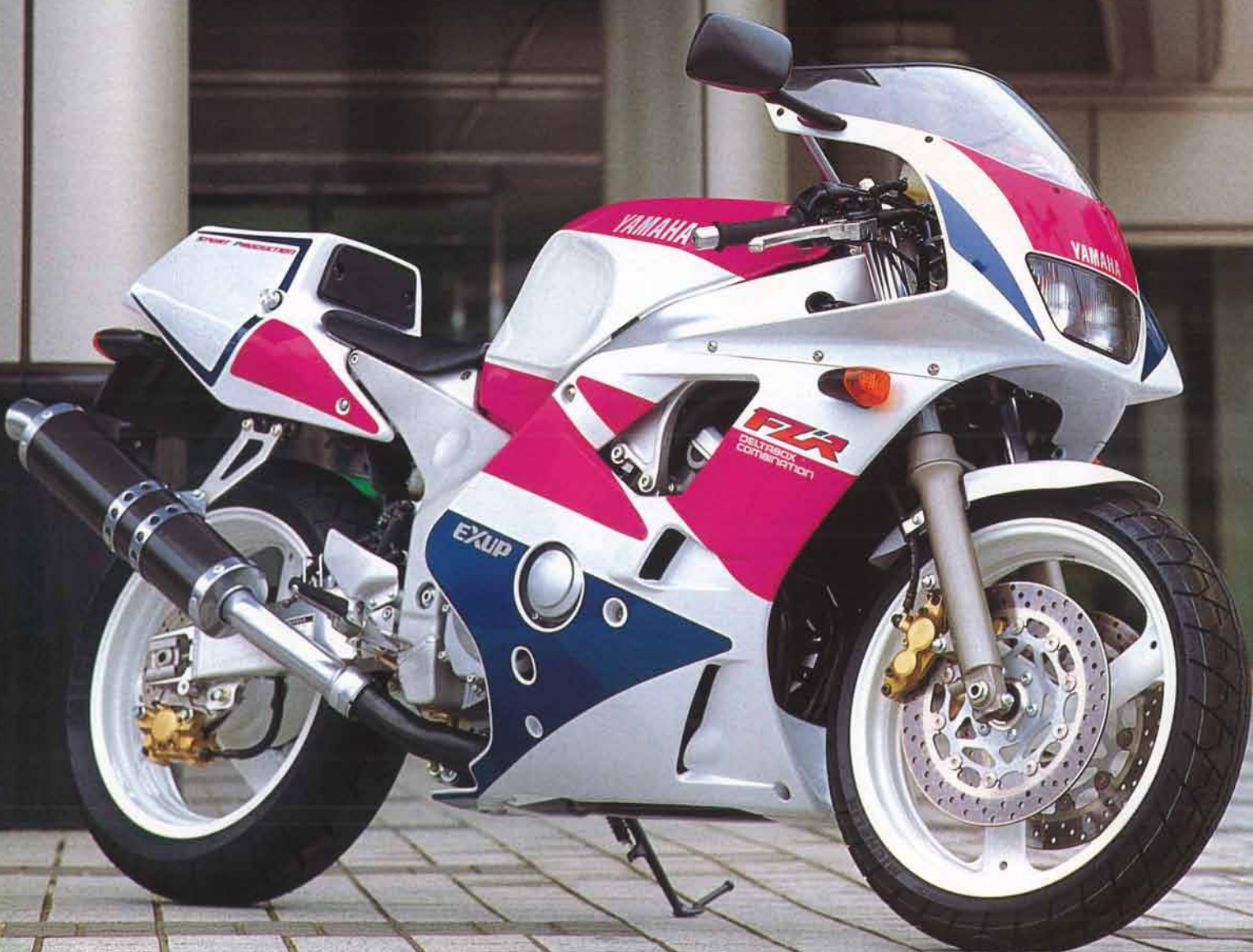
技術サービスはもうひとつの商品

列島ぐるり●こんにちはヤマハ紀行⑨——10

北陸 冬に備え春を待つ
北の城下町

NEW MODEL●さらなる熟成ヤマハスポーツ——18

FZR400RR-SP
TZR250R/RS
'93R1-Z





特集
個性を光らせる
シヨツプの

技術サービスはもつとこの商品

お客様への感謝の気持ちを表現し、またお店の存在を強くアピールできる技術サービスは、今や販売屋さんにとって「もつとこの商品」としてますますウエイトが高まっています。
今号は、そんな技術サービスにスポットを当ててみました。より強くお店の個性を打ち出すヒントにお役立てください。

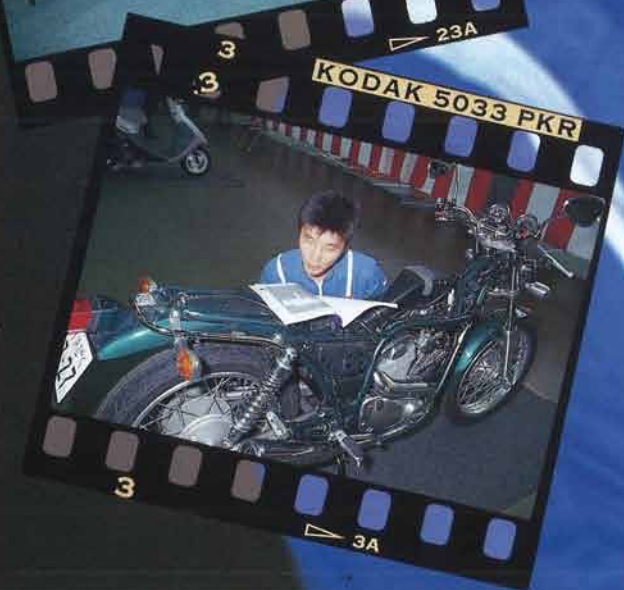
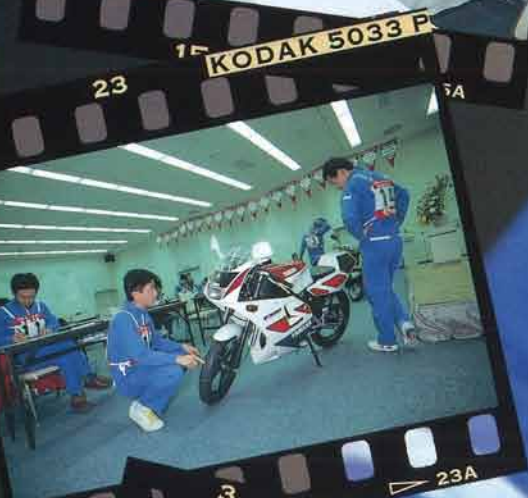
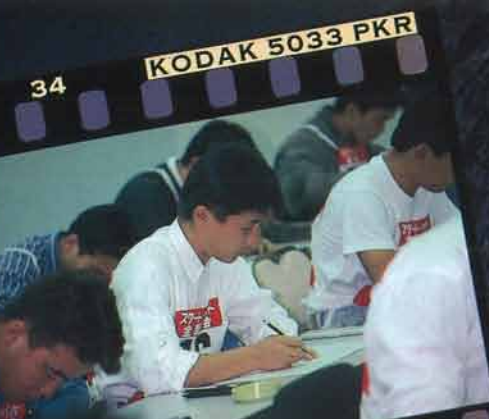


サービスマン奮闘記

片山 功さん(YSP広島北)のスタートーナメント全国大会

10月28、29日の2日間にわたり開催された '92ヤマハスタートーナメント全国大会。全国1500のスター店、4000人のヤマハ二輪車整備士のなかから選ばれた37人の代表が今年も静岡県掛川市にあるヤマハリゾート・つま恋に集まり、日頃の総合的なサービス力を競い合った。

ここではマスタークラスに出場した、中国ブロック代表の片山功さんにスポットをあて、その奮戦ぶりと全国大会の様様をご紹介します。



学科競技



8割は解答できたと思う

10月28日、各地区から次々につま恋に到着する参加選手。午後4時第1会場に全員集合。受付そしてスケジュールの説明が行なわれ、第4回ヤマハスタートナメント全国大会がいよいよスタートとなる。

「取材があるんで、あまりみっともないところは見せられませんがね。ただここにくるまでの数日間はとても忙しく、満足に勉強できませんでした。ちょっと不安なんですよ」と片山さん。私服とはいえゼッケンをつけて机に向うと、やや緊張気味の表情。試験官の「はじめの声で会場の空気が一気に張りつめる。学科競技の開始だ。えんぴつの「ゴツゴツ」と響く音だけ聞こえる。終了15分前大きくため息をつく片山さん。見直しをする時間は充分ある。

終了後の解答の説明にも表情をくすくすに聞き入っている。「何間かカン違いしちゃったけど、8割ぐらいはできたんじゃないかな、と思うんです」まずまずのスタート。本日の競技はこれで終わり。



「夕食後の勉強ですか？うーん、同室の友達がすれば自分もするかな」と夕食後の片山さん。午後8時すぎに部屋を訪ねると、最初はテレビを見ていたものの、1人がカタログを見だすと……

昨年の大会も出場している片山さんが「去年はこんな問題が出たんですよ」というと、同室の参加者の目つきがとたんに変わる。



昼食後、この大会で知り合ったサービスマンと、コーヒーブレイク。話題は店での苦労話もであるが、自然と競技の出来、不出来になる。最後の実技を前にしているせいか、みなさん表情は堅い。



「できました？」「もうアカンですワ！」接客終了後、同室だった大角さん（関西ブロック）と苦笑い。

もう緊張しっぱなしです

「意外とよく眠れました」朝食を終えて会場に来た片山さんは、ヤル気十分（しかし不安な表情も見せる）。

「2度目で雰囲気になれてるハズなんですけど、やっぱりコレが一番緊張しますね」。コレ、つまり接客競技があるからだ。

翌29日の接客、見積り競技は同時進行。2台分の修理見積りを行なうあいだに、ゼッケン順に別室に呼ばれ、約15分の接客競技を行なう。片山さんは1台目の必要部品を書き出したところで順番が回ってきた。お客さんに見たてた試験官が入室し、競技がスタート。相手の話を良く聞き、ひとことずつ丁寧に答える片山さんだが、いつもより少し早口になっている。

表情もやわらかくなり、笑顔も出るころに終了。会場から出てくると、「あがつちゃって、いいことこの半分もいえなかったですよ」と苦笑いするも、気をとり直して見積り競技を再開。

「見積りはできたと思いますよ」といながらも、接客がどうも納得いかない様子の片山さん。「昨夜の勉強ですか。そこそそ役に立ったと思うんですけどね」

接客・見積り競技



実技競技



マスタークラスSRV250に挑戦 エンジンがかからない!

片山さんにとって、一番自信があるという実技が始まる。競技に使う車両は、マスタークラスがSRV250、ベイシッククラスはJOG。片山さんはもちろんSRVを手がける。

工具を手にしたかと思うと、あれよという間にバルブクリアランスの測定を終える。さすがはドクター資格保持者だ。次にとりかかったのはまわらないセルの原因究明。各部を手際よくチェックするが、なかなかエンジンがかからない。そのうち、周りからエンジンのかかる音が聞こえ始めると、さすがの片山さんもあせりがでてきた。原因を発見した時は残り時間10分。まだ定期点検が残っている。底冷えする会場で額に汗をうかべる片山さん。すべての項目を終えると同時に競技が終了。

「試験前にSRVの配線を覚えてきたんです。それが頭にあっただけから簡単な部分に気付かず、余計なところに手をつけちゃいました」とにかく競技は全て終了。あとは結果発表を待つだけだ。

片山 功さん



高専卒業後、某4輪メーカーに就職し開発部の実験を担当する。4年後に退社。その当時からよく顔を出していたYSP広島北（当時はYOU SHOPフェニックス）に入社。この業界は3年目だが、すでにドクタークラスの

の資格を取得。'91年の全国大会では優良賞を受賞。今年はそれ以上の成績（できれば優勝）を狙っての挑戦。緊張に拍車をかける今回の密着取材にも「出たがりですから」と気軽に応じてくれた、ヤル気一杯の29歳。



ヤケ飲みではなく、ゲームのシーンです。夕方から開かれた懇親会では、昨年度優勝者の小松敬治さん（YOU SHOPモトメンテ、右）と話す機会も。早くも来年に向けての秘策を聞き出しているのか……？「いろんな人と話せて、楽しい2日間でしたね」



結果発表までの間、ヤマハから配られたプレイチケットで生まれ初めてのゴルフに挑戦。「これ、なかなか面白いですね。来年のスタートーナメントまでにもっと練習ときますよ」

表彰式

同じく優良賞 YSP広島北…。

戦い終わって、結果発表。奨励賞、優良賞、3位、2位、そして優勝の順で店名が呼ばれる。奨励賞の発表が終わる、優良賞発表のとき、「YSP広島北、片山さん」。その瞬間、残念そうにうつぶむいた片山さん。優良賞といえば立派な成績だが、片山さんにとっては昨年と同じ成績。「正直いって、残念です」といながらも（くやしそうな表情ありあり）、胸を張って表彰状を受けとった。

'92 ヤマハスタートーナメント全国大会 術とまごころで新たな感動を YTS



競技をふり返って



験のために勉強したことがお客さんとの会話に生きますから

来年ですが、もちろん出場したい。今度は本当に狙いたいです。その意味では（来年の出場権がある）優良賞で良かったってのは強がりですかね（笑）

SRVのセールストークを試も大きな意義がありますね。この大会に出場することもそうですが、そのために自身を勉強するということに要なんです。お客さんが待ってるわけですから。時間短縮というテーマが見つかっただけでも大きな収穫でした。は短時間で整備することは重

少なくとも3位以内には入りたいと思ってましたから、正直いってとても残念です。でもいい勉強になりました。たとえば実技。普段は自分のペースで整備しているので、制限時間内ですませることにあせりを感じました。非現実的のように思う競技ですが、実



餅は餅屋、しかもプロの餅屋です

YTSスリースター店に認定された
YSP千葉北さんのプロ意識

千葉県千葉市 梅内 一 社長

目に見えるサービスしか
信用してもらえぬ時代

「いまの社会、目に見えるものしか信用してもらえない。お客さんの目にハッキリと映るサービスができて、初めて信頼関係の糸口が見つかる」

サービス工場の認証化、YTSドクタークラスの取得、そしてそれにとまなうYTSスリースター店認定など、テクニカルサービスについては最高峰の資格を有する「YSP千葉北」さんの梅内社長は、サービス活動の心得をこのように語った。

「人は目で見て感じ、納得する。お客さんに納得してもらおうことが何より大切なことなんだ」と。

同店のサービス工場が認証工場となったのは今年の3月。それ以前から設備とサービスマンの資格は認証レベルに達しており、満を持しての申請だった。

「何の資格も必要としないで商売しているこの業界に、私自身納得いかないところがあったんです。実際、認証を受ければ入会金や会費で10万単位の経費がかかるわけですが、それを当然のこととして受け入れられない遅れた業界に思えたんですね。こここのころ運輸省も本腰入れてきてますから、うちとしても当たり前前前のことをやっておこうと、こう考えて申請したわけです」

「遅れた業界」の例を梅内社長はこう指摘する。

「お客さんに工具を貸し出している店があるんですけど、技術を売るのが私たちの商売であって、それ以上でも以下でもない。サービスの一環として貸しているつもりなら、それは本末転倒というもののじゃないでしょうか。他人に危害を与

PART② 技術サービスにかけるシヨップ



認証工場となったサービススペース。整理整頓を心がけている



テクニカルサービス関連の認定証がずらりと並ぶ商談コーナー。お客さまに対するアピール度も高い

YSP千葉北

〈プロフィール〉'85年オープン。千葉市の文京地区に店舗を構える株モトプラザの本店。'92年3月、認証工場の認定を受けるとともにYTSスリースターを取得。また蕪木店長が'92ヤマハスタートーナメント全国大会で優勝するなど、技術を売る店としての競争力を着実に蓄えている。



'92ヤマハスタートーナメント全国大会で優勝した蕪木店長。実は2度目のチャレンジで、4年前に参加した時には東京大会で落ちてしまったとか

「梅内社長のサービスマンに対する指導は厳しい。「再修理が必要な修理は絶対にするな」が口ぐせだ。一度消えてしまった信頼を取り戻すのが、いかに困難なことか知っているからだろう。そんな厳しい指導の中でサービスマンはプロの技術を身につけ、育っていく。今回ヤマハスタートーナメント全国大会で優勝した蕪木勝彦店長もそのひとりだ。

「結果として優勝できたのだから嬉しさもありますけど、それよりトーナメントに出るために勉強したことが自分の財産になったと思います。本来は普段から勉強が必要なんですけど、仕事しながらだとなかなか手がつけられませんからね」と話す。

いかにもベテラン然とした蕪木店長だが、実はまだこの道5年の31歳。たった5年で日本一のサービスマンに成長したのだから、その努力がうかがい知れる。

技術と設備、そしてマンパワーが揃ったYSP千葉北さんの次なる目標は？

梅内社長に聞いてみた。

「夢はお客さんの愛車の健康状態をいつでもひと目で見るように、コンピュータで管理することです。言ってみればお医者さんのカルテみたいなものですが、それができればアフターサービスがほぼ完全なカタチでできると思うんです。近い将来、ぜひ実現したいですね」

「える恐れのある商品を扱ってるわけですから、なおさらのことですよね」

餅は餅屋に、その代わりプロとしての責任ある仕事を、というわけだ。

転職組の蕪木店長が5年間で日本一のサービスマンに！

大切にしているんだから もう少し丁寧に扱ってほしい

田中暁さん(28歳・東京都)

僕が大学生の頃、便利だということもあって、学校の近くの店に友人と一緒に通ってたんです。買い替えとか買物用のスクーターを買ったりもしてたんです。店員さんも年齢が近いこともあって話が合ったしね。

ただ、もう少しバイクを丁寧に扱ってほしいと思ったことはよくありましたよ。キーをなくして家まで取りにきてもらったときも、鉄のフックをフレームに直接かけてキズつけちゃったり、修理車を並べて置く場所で、隣のバイクのハンドルがカウルにあたってた。転んだりしてたら確かに綺麗なバイクじゃなかったけど(笑)、やっぱり人につけられたキズって気になる。最近ですか?修理とかは自分でやるから、あまり行っていないです。

高い技術力が台なし 接客態度は信頼関係の基本

山本英敏さん(27歳・大阪府)

以前、ジェネレーターのコイルが焼き切れてしまっ、大型店に修理に出した時のことだけど、修理が終わったっていうからバイクを取りに行ったら、クラッチレバーが折れてたんですよ。明らかにバイクを修理作業中に倒したのが原因なのに、お店の人は知らないっていう。そんなはずないって抗議したら、「じゃあ交換しますよ」。しかも、「パーツがきました」で行ってみればクラッチワイヤーだったんです。

せっかく修理はちゃんとやってくれたのに、こんなミスが続いたら、お店の信頼も台無しだよ。もっときちっと対応してくれたらいいお店なんやけど……。

バイクの身になった修理 ピカピカの愛車を見て感激!

北村薫さん(21歳・山形県)

修理が完了して納車してもらった時に、汚れていたバイクがピカピカになって返ってきたのには感激したなあ。

簡単な修理で、その気になれば自分でもなおせるな、と思ったけど念のために買った店に(YSPです)持っていっていいんです。まず、見積りを取ってくれて、まあ納得できる額だったのでお願いしたんです。

修理も2時間程で完了するというので、時間をみはからって取りに行くと、何とまあ愛車がピカピカに磨かれてキレイになっていてるんですよ。当然、故障もキッチリとなおっていました。それを見て、何て仕事がいいねいな店なんだろうって思いましたね。バイクを大切に扱ってくれるのはやっぱり嬉しいですよ。バイクに乗りはじめてまだ一年たないけど、バイクショップってどこもこんな感じなんですか? だったらいいですね。

直しさえすればいいって もんじゃないでしょう

松下順哉さん(27歳・埼玉県)

2、3年前に今の家に引っ越してきたとき、とりあえず名義変更をお願いできそうなバイクショップを探したんです。もちろん長く付き合えそうな店をです。

家から一番近い店だったんですけど、中に入って声をかけたら、奥で整備していたお兄さんが「ナニ」って感じて顔だけ向けて。しばらくして表に出てきたんだけど、整備してたその手で僕のバイクに触れながら話をするんですよ。あまり覚えてないけど、着ていたツナギも汚なかったんじゃないかな。

エンジン分解してみたみたいで腕は良さそうかなって思ったけど、あんな応対されたんじや二度と来るもんかって思いますよね。今は家から5km程離れた店にお世話になってます。

なんで見積りと違うの? もう信用できない!!

柏木健治さん(19歳・東京都)

はっきり言って、バイクショップの修理に関しては信用できないですよ。「いくらくらいできますか?」と聞くと、「たぶん1万円くらいじゃないかな」とか「予算は?」なんて無責任な答え方をします。しかもよくバイクを見もしないで答えるんですから。

で、修理車を引き上げに行くと、「ついでに〇〇も直したから」なんて言って見積りより高い金額を請求したりする。「なんでひと言相談してくれなかったんですか?」なんて聞くと、「このままだと危なかったから」といかに親切そうに言うんです。いまでもですか? ほとんど自分で直すようにしています。ただ部品を買いに行くのが嫌なんだよなあ。

お付き合いは1枚のDMから… いまではすっかり信頼してます

横山好之さん(29歳・東京都)

1年半くらい前かな、うちに帰ったら、知らないバイク屋さんからハガキが届いてたんです。点検の案内だったんですけど、差出人は聞いたこともない店でした。

「なんでこんなところから?」と思ったら、その店が以前に修理してもらったことを思い出したんです。その時に住所を残してきたかどうかは覚えてないんですけど、僕のデータが店の方にあっただけでしょうね。

いまでもですか? もちろん案内をくれた店の方に通ってますよ。なにせ点検の案内なんかもらったの初めてでしたからね。自分のバイクの状態をつかんでくれてる店があるってのは本当に心強いものです。そっちになびくのも、客としては当然の選択です。

学生はピンボーです 小さなサービスでもうれしいんです

加藤賢治さん(21歳・東京都)

やっぱり、ショップが信頼できるかできないかがよく分かるのは、整備などの技術サービスの面だと思う。

僕は学生で、お金があまりないから、工賃払うのはイタイ出費なんです。だから同じお金を払うのだったら、少しでもしっかり整備してくれるショップの方がいいに決まっています。

僕なんか目ざといから、細かい所もすぐよく見ちゃうんですよ。オイル交換の時に、ついでにチェーンの張り具合とか給油をやってくれたショップがあったんだけど、もちろんサービスですよ、今ではそのお店にいつもお世話になってます。

バイクライフを支えてくれた
ショップの「メカ講座」

前川謙さん(40歳・神奈川県)

40歳の今でもバイクに乗っていることが楽しいと思えるのは、若い頃にお付き合いしていたバイクショップのおかげだと思っっています。整備のことをとにかく勉強させてくれたんです。

ショップのサービスマンは当然プロですから、完璧に私の愛車を面倒みてくれる。でも現場に立ち合っていて、「それはなに？」と聞くと思切ていねいに教えてくれた。「これやってみろ」って、工具まで貸してくれた。直接教えてもらったんだ。おかげでメカにも強くなったね。今では基本的なことは自分でやっています。感謝していますよ。もちろんショップとは長いお付き合い継続中です。

こんなメカ講座してくれるお店、もっと増えればいいと思うね。

女の子にも分かるように
やさしく説明してください

杉浦千絵美さん(18歳・愛知県)

バイクショップに行ったのは、スクーター買ったときぐらいかな。ころんだり、故障したりしなければ、ほとんど行かない。

でも最近、友だちに「メンテナンスは大切だ」って言われたんだけど、買うときにお店の人は特にそんなこと言ってくれなかったんですよ。そんな大事なメンテナンスのこととかは、女の子の私にでもわかるようにしっかりと説明してくれたら、もっとよかったのにな。あと点検の案内状とか送ってくれば、お店にも行きやすいんですけど。それから、かわいいステッカーとかあったら、買いに行くんだけどね。

技術力を台なしにしない でほしい!



パーツ代、工賃などを
明確に提示してほしい

黒沢明さん(21歳・愛知県)

今乗っているバイクで4台目になるけど、バイクを買うときにも気になることのひとつに諸費用があるんだよね。諸費用の中でも納車整備料っていうのが、どうもよく分からない。整備料金も店によってまちまちだったりするし……。

ただでさえ高い買い物をするわけだから、料金をとるならとるで、その内容をはっきり教えてほしい。でないと何だかわけのわからない物にお金払ってる心境になるんです。具体的に何をするのにいくらだったとか教えてくれれば、買う側も納得できるし安心もできるんじゃないでしょうか。

早い確実、明朗!
修理のポイントも理解

佐藤敬造さん(23歳・東京都)

何といっても、パーツの納期の早さが気に入ってるね。僕は気が短いほうなので、何でもすぐに手に入れないと気がすまないんです。その点、この店はパーツを注文すると、だいたい物が翌日に入ってくるので助かっています。

店も、簡単な修理ぐらいは自分でできないとダメだね、という考え方で、僕たち若いライダーに修理のポイントや、応急処置の方法やコツを実際の作業を通して教えてくれて、さらにこの場合はどんな部品が必要かもチェックしてくれるんです。

また、必要なパーツはわかりやすいリストにまとまっていて、価格も書いてあるので、自分でも見積り書が作成できてしまうほどだった。部品をオマケ的に扱っていないのがとっても気に入っています。

列島ぐるり

こんにちはヤマハ旅行



北陸

冬に備え春を待つ北の城下町

日本海に突き出た能登半島周辺、北陸地方は、指折りの豪雪地帯と言われている。

今回は、まさに冬本番を迎えるようとする姿を、

北陸の中心都市・金沢と、

周囲を山々で囲まれた古い城下町・大野に探してみた。



加賀百万石の都・金沢は 雪国のおもかげ薄く

石川、福井、富山の3県にまたがる北陸地方は、名にしよう豪雪地帯である。

日本三名園に数えられる金沢・兼六園の、雪吊りを施した美しい円錐形の木々に雪が降り積もったさまは、その象徴的な風景といえるだろう。

誰かにももらった絵ハガキか、それとも雑誌や図鑑のグラビアだったか。実際に行ってみたことはなくとも、誰もが1度は目にしたことがあるに違いない。

だから、本格的な冬を迎えようとする北陸



みやげ物屋や茶店が立ち並び兼六園わきの坂は、季節を問わず人影が絶えない

さりげない和服姿が日常のなかで似合う風景が、ここにはたくさんある



への旅を計画した時、まず最初に金沢をたずねてみたかった。

まして、金沢は江戸時代に加賀、越中、能登の3国を領下に治め、百万石の大国とうたわれた前田家加賀藩のお膝下である。旅の起点としては申し分ない。

そんなわけで、11月のとある日、さつそく由緒ある城下町に足を踏み入れた。

ところが、あにはからんや妙にポカポカと暖かい。雪の到来には早過ぎるとしても、思わず上着のえりを合わせるくらい寒い寒さを予想していただけに、やや拍子抜けしてしまった。

まあ、いくら雪国とはいえ、まだ11月。たまたま小春日の日があったって不思議ではない。勝手な思い込みを反省しつつ、『YOU SHOP 西村』さんに向かう。

兼六園の裏手、市の中心街から少し離れた丘陵地、小立野にあるこのお店は、西村忠義社長が2代目にあたり、およそ50年ほど前に自転車屋さんとして創業した。

現在は、やがて3代目を継ぐ息子・健一さ



室生犀星など多くの文人が愛した犀川の河原は、一面に芝が張られ、市民の憩いの場となっている



ながヤマハでの研修を終えて店に戻り、スクーターを中心としながらスポーツ車、自転車まで幅広く扱っている。

店頭は、やや手狭とはいえ小ぎれいに片付いていて、周囲の町並みにじっくり溶け込んでいる。

しかし、そのなかに薄日を浴びて、青い除雪機が1台ポツリと置かれているのが、いかにも不釣り合いに、所在なさにみえる。

「そう。このところ確かに暖かいからねえ。でも、あなたが思うほど金沢は雪深くないし、寒くもないんだよ。特にこの数年はね」と西村社長。

以前は昭和38年の「サンバチ豪雪」の時のように市街地も数メートルの雪が積もり、2階から出入りしたこともあるが、

「そんなガンコな雪は、10年くらい前に1〜2m積もって屋根の雪降ろしをした覚えがあるだけ。あとは降っても20センチ程度だし、ひと冬で数えるほどだよ」と健一さんも口をそろえる。5年ばかり前に除雪機を買ったお客さんが、まだ1回も使わずじまいで置いてある、なんていう話があるくらいだ。

考えてみれば、スキー場でさえ雪不足だというニュースが流れたのはここ数年の話。金沢とて例外ではないし、むしろもっと顕著なのかもしれない。

「おかげで冬がヒマで困ってるよ」と苦笑い。いつ雪が降るかかわからないから、お客さんはバイクに乗らないし、といって雪は少ないの

で除雪機が必要なほどでもない。「どっちつかずでどっちも商売にならない」のが、目下一番の悩みである。

冬の商売を見直すことが 次世代の店づくりのカギ

しかし、ヒマだといって冬中手をこまねいているわけではもちろんない。

クリスマス頃になればそれなりに雪はあるし、除雪機のメンテナンス、販売が動き出す。さらに、3月から始まるバイクシーズンに合わせて予約活動やメンテナンスの案内、中古車の整備といった準備もある。

どちらかという、秋の需要期がひと段落し、冬仕度に入るまでの11月頃が最もヒマなのかもしれない。

ただ、雪が少なくなり、道路の雪対策も進んできている現在、冬はバイクに乗れない時期でなくなりつつある。実際、交通に支障をきたすことはほとんどないようだ。となれば、冬の商売のあり方を雪国スタイルから脱脚させていく方法を考えてもいいのではないかと。

健一さんが担う次代の店づくりは、このあたりがカギになりそうだ。

「実は、健一には新しい店を持たせようかと思っっているが、その課題のひとつは冬の商売、そしてスポーツ車の拡販なんです」と西村社長。

もともと金沢市内には、金沢大学をはじめ5つの大学があり、潜在的なスポーツユーザ



大野市を見渡す六呂師に冬が来ると、そこは一面がスノーモビルの楽園となる



金沢と同様、大野にも由緒ある古寺名刹が数多く残り、昔ながらの寺町らしい景観を今に伝えている



大野市内に“水道”を持つ家は1万1000世帯中900世帯あまり。自前の井戸や湧水で十分なのだ

1層は十分多い。それを、若者向けの新店舗で取り込もうというわけだ。健一さんは、「まだまだ先の話で、具体的には何も進んでませんよ」というが、話の端々に自分なりのプランが見え隠れする。
そんな様子に、西村社長も満足そうだ。「店に戻って5年。とりあえず後継ぎがしっかりしてくれてひと安心ですよ。おかげで私はラクしてるもんで腹が出っぱってきた」と顔をほころばせた。

緩やかな生活の営みが歴史を育んだ城下町

金沢市は、太平洋戦争で被災しなかったため、江戸時代の町並みや遺構が多く残され、城下町らしい姿を今も色濃くとどめている町である。

金沢城跡や兼六園、武家屋敷跡などは言うに及ばず、町のそこそこ古い土塀や格子戸の家々や折れ曲がった道、丁字路、袋小路などが散在し、市街中心部をはさむ犀川と浅野川に沿って数多くの寺社、文字碑が並んでいる。

町そのものがひとつの史跡みたいなもので、小さな路字裏に至るまでガイドブックとカメラを持った観光客が入り込み、町の人もすっかり慣れっこのなか、あちこちカメラを向けるぞき込んでいても一顧だにしない。
とはいえ観光で成り立った町ではなく、北陸の中心都市として商業、繊維工業、機械工業、そして九谷焼、金箔、加賀友禅などの伝統工芸も盛んである。金沢の人たちは、生まれてからに受け継いだ歴史ある財産で口を糊しようなんて考えていないのだ。
どちらかといえば、どうぞ勝手にご覧下さい、と鷹揚に構えているような気がする。
そんな金沢から国道157号線を南下、白山に連なる山系入り込み、手取川沿いを走ると、あたりは紅葉がまっさかり。あいにく



親子二代で店を盛りたてたいとの希望がかなった「YOU SHOP西村」さん。息子の健一さんは、自慢のサービス力を生かした店づくりをしたいと意欲満々



雨模様で、秋の陽に照り映える景色を鑑賞することはできなかったが、しっとり濡れた深みのある彩りの美しさは十分見応えあるものだった。
そこからさらに山道を越え県境を渡ると、福井県大野市へ入る。
市街地は、本町通り、二番通り、三番通り……が南北に伸び、東西に走る六間通り、七間通り、八間通りと直角に交わる町割りが残り、古い土蔵や木造りの商家、旅館、寺社が軒を連ねている。
市街の西のはずれに、赤根川を背にした形で小高い山(亀山)があり、その頂上に越前大野城が悠然と町を見下ろす。金沢と比べると、人口は10分の1に満たない小さな町だが、ここも古い情緒を偲ばせる城下町という点で



バイクからスノーモビルへ、高売の対象が切り換わる秋だけが、唯一ヒマな時。ランドがオープンすれば、次のバイクシーズンを終えるまで休みなしの忙しさとなる(木瀬モーターサイクル)



は同じである。

しかし、17世紀後半から土井家4万石の統治下で幕末、戦時下の動乱にも巻き込まれることなく、およそ平穏なまま現在に至る大野は、金沢より落ち着いて生活感あふれた町だ。江戸時代からの時の流れがそのまま素直に感じられる、といったらわかるだろうか。

象徴的なのは水だ。周囲を山に囲まれた大野盆地は地下水が豊富で、日本名水再選に選ばれた「御清水」をはじめ、いたるところに湧水があり、今も炊事、洗濯など生活用水として使われているのだ。自前の井戸を持つ家も多い。

そして、取りたての野菜や生花を持ち寄って売る「七間朝市」。七間通りの商店前に、遠慮なくゴザを広げてお客を待つおばちゃんたちの姿は、雪の深い冬を除いて毎日見ることができ。もう400年もの間、連続と続いてきた伝統的な商いなのだ。

だが、おばちゃんたちの表情にそんな気遣いはまったくない。今日も近所の奥さんや旅行者を相手に、昨日と変わらない笑顔で話しかけ、業わいを営んでいる。

雪に閉ざされるのではない 雪に恵まれているのだ

「木瀬モーターサイクル」さんは、JR越前大野駅の裏手にある併売店。夏はバイク、冬はスノーモビルと除雪機を扱う、いわば二期作ショップとでもいうところだろうか。

「雪が多いからね。例年、11月ごろからバイクは需要が止まってしまし、実際3月中旬までは雪で走れないもの。」

そうだったらあとは、新聞配達や郵便局で使うバイクの保守や除雪機くらいしか商売にならないのよ。だからスノーモビルをはじめ

「たんだ」と木瀬誠治社長。

大学がなく、高校も「三ナイ」が強い大野では、学生需要が見込めない。木瀬さんのお店も客層のほとんどが社会人。それも、完全なレジャーユースでのスポーツ車ばかりだ。

そこで、冬の間お客さまとのつながりを絶やさないためにスノーモビルが大切な商売道具となるのだ。雪が積もり始めるのは12月中旬以後だが、店内はもうすっかり冬仕度。申し訳程度に1台だけバイクが残っているほかはスノーモビル用品、除雪機しかない。

「昨シーズンから、六呂師高原でスノーモビルランドも始めてね。ヒマだった冬が急にせわいなく（忙しく）なったなあ」

六呂師高原は、市内から10キロもない。そこに、県の土地と市の建物を借りてランドを営業しているのだ。

市内の雪は多い時で1メートルほど。だが、ランド周辺は平均2〜3メートルになる。

「スノモだって、雪があればどこでも走っていいわけじゃない。せつかくスノモで商売するなら、ちゃんと走れるところ確保しようと思っただけです。自分もお客さんと遊べるし、ちょっといいな、なんてね」

しかし、現実には甘くなかった。朝6時ごろランドへ行き、コースを作って10時に営業を始め、4時に終わったらマシンの整備などで追われる毎日。遊ぶどころじゃなかった、と木瀬社長は頭をかく。

「でも、バイクのシーズンは毎週ツーリングに行き、冬はランドでスノモに乗ってもらおうという、一年通して遊びが提供できるのが強みですよ。確かに体は辛い時もあるけど、いいじゃないですか、楽しいですから」

ハンドをメリットに変えたエネルギーと情熱に乾杯！



パーティの直前、手配に忙しい大月社長

今月の達人

YSP京葉(東京都)
大月信和 社長

アイデア拝見

Pint & Hint

イベント

クリスマスパーティに忘年会、そして新年会……。年に1度のパーティシーズンであるこの時期は、お客さまとの関係をより深める大きなチャンス。楽しいひと時を、お客さまとともに過ごしてみませんか？

感謝の気持ちを伝える なんでも表彰パーティ

年末から新商品の導入期にあたる春先までは、お店とお客さまの接点もつとも希薄になりがちなシーズン。乗車機会が少なくなり、コミュニケーションの糸口が見つけにくい時期だとも言える。

『YSP京葉』さんと『YSP葛飾』さん(鈴木光男社長)が中心となって毎年開催している恒例イベント「YSP 4なんでも表彰パーティ」のスタートも、シーズンオフにガッチリとお客さまとの絆を深めておくためのものだった。回を重ねる度に参加者は増え続け、5回目の今年は4店合計で120名のお客さまが参加する予定だ。

「成功の秘訣ですか？ いろいろあると思うけど、一番大きいのは私たちの気持ちがお客さんに伝わっていることじゃないかな。それぞれのお店にとって大切なお客さんを、一年の感謝を込めてもてなすことがこのパーティの目的なんですけれど、その気持ちがダイレクトに伝わってると思うんです」

「具体的には参加者全員を、何らかのカタチで表彰してあげるようにしています。たとえば「一番走ったで賞」とか「エンデューロで頑張ったで賞」とか、何でもいから表彰してあげる。そうすることでみんなが主人公になれるわけです」

120名分の賞品は主催各店が持ち寄った関連用品や日用品、会場は近所の中華レストランとなる予定。また当



今年は12月18日に開催される『YSP4なんでも表彰式』。120名の参加が見込まれる

日は参加者に1000円相当のプレゼントを用意していただき、会場で交換してもらうことになっている。経費を抑えながらパーティの楽しさを損なわないための工夫がここにある。



お店の魅力を倍加する
他店との協力関係

5年間『YSP葛飾』さんと協力しながらパーティの規模を拡大してきた大月社長だが、共同開催のメリットを次のように語る。

「まず、他店のお客さんと触れ合うことは、うちのお客さんにとっても大きな利益だということです。遊びの世界が広がるし、仲間も増える。パーティの会場で知り合っつて、その後一緒にツリーングしているお客さんもいるみたいですよ」

「気をつけている点は、ある特定のお客さんが疎外感を味わわないように、

新規の人たちにも積極的に声をかけるようにしています。そうしなければパーティ自体もマンネリ化してしましますし」

主催各店の役割り分担は、『YSP葛飾』さんと『YSP葛西』さんが会場の手配と当日の運営、『YSP京葉』さんと『YSP葛西』さんがバンドの手配ほか演出面を担当している。また4店がそれぞれスポンサーを集め、より楽しいパーティを目指している。



こうした協力関係は、今回のパーティだけでなく、オンシーズンの各種イベントでも力を発揮する。過去3回開いた『トライアスロン&スーパードライバー』も、合同運営によるものだった。「要は単店ではできないことも、みんなでスクラムを組めば実現できるということです。それぞれの店の魅力が、合同開催とすることで何倍にもふくらむ可能性があるということですね」

中型免許取得へ方向転換か？ ともあれB君！ 一日も早くライダーに

16 歳の高校生B君が、ライダーになるまでを追跡しながらバイク観やバイクショップ観をみてきた当コーナーも今回が最終回となってしまった。全国に約390万人いるとされる15歳から16歳未満の少年たち。いわゆる“ライダー予備軍”の内の一人にすぎなかったけれど、モーターサイクルの世界への憧れは、店長さんはじめとしたお店のスタッフの同時代と大差ないことに気付かれたと思う。

B君は、すでに紹介しているとおり“三ない”実施高に通学している。それでもB君は、原付免許取得に挑戦、見事に不合格となった。

ライダーになるまでのプロセスのみでいえば、同級生たちと先を競い合って二輪免許を取得した世代に比べ、B君世代は簡単にはライダーになれない。

「仲間を誘っても、そこまでして取ろうとは思わない。お前一人で行けよ。でも学校には黙ってやるから」これが“三ない”高の建

て前というか、免許取得への反応だという。

「でも、免許持っているヤツ、けっこういるんだぜ」とB君は打ち明ける。

余談だが、ある販売店さんからこんな話を聞いた。「5、6年前ほどの大きな話題になっていない“三ない”だけど、それは、しっかり浸透しているという証拠でしょうね。高校生相手の商売は、あきらめに近い。でも、彼らはやがて“三ない”から解放されるわけです。その時のためにも、高校生たちとのコミュニケーションは持っていないとダメですね」

そのショップは、春、夏のイベントに高校生を誘ってあげるよう先輩ライダーに働きかけ、また、彼らが気軽な顔を出せるようなムードづくりも怠らない。

実際、そうしたショップの“努力”が実り、高校在学中に新規客になったケースを知っている。そのお客さまは、契約時、父親が同席したという。その父親は、“三ない”よりも親権を優先させたことが十分うかがえる。

「その父親にすれば、親が認めて、ちゃんとした形でバイクに触してもらいたかったんでしょね。学校も親も認めない。だからコソコソ隠れて……。それだけは避けたかったんだと思います。契約が終わって“よろしくお願ひします”と頭を下げられた時には、責任感じましたね」とそのショップの店長さんは言う（東京の併売店さん）。

B君の話にもどろう。B君は今年中に原付免許を取る、と決意も新た、孤軍奮闘しているらしい。が、父親は逆に、あきらめている。先のが不合格が、よほどこたえたらしく、息子不信に近い状態なんだそうだ。

友人たちから「いいじゃないですか、1回ぐらいオッコちても」という声は、皆無で「そりゃ、はっきり言って息子さん、情けないですね」が圧倒的の大多数。不信はおおげさにしても、お父さんの気持ちよく分かります、ほんと。

またまた余談だが、B君の原付受験不合格を告げたヤマハニュースが、B君はじめ奥さんの知るところとなり「なにもわが家の恥を公表することはないじゃない」「あれ、全国に配られるんだらう。チェック」。父親は今、ちょっとした“家庭難民”の状態だともいう。（タイトルで大きく紹介することもなかったか、とヤマハニュースは反省しています）

その後B君は、アルバイトをはじめた。その後とは、オジさんの250ccオフロードに、ちょい乗りさせてもらった、その後だ。アルバイトが、デート代になることはない、と父親は言う。中型免許取得費用じゃないだろうか？

ともあれB君の一日も早いライダーになる日を心待ちにして、1年間の当コーナーを終わります。





ブラック



ホワイト



コスミックブルー



ミッドナイトシルバー

群を抜くコストパフォーマンス

ヤマハヘルメット **ZENITH ZZ** 新発売
ゼニス ダブルシー

メーカー希望小売価格: ¥19,800 (消費税は含まれておりません)

規格: JIS C種 サイズ: S, M, L, XL
カラー: ホワイト, ブラック2, コスミックブルー, ミッドナイトシルバー

車種を選ばず大きな解放感が味わえるオープンタイプヘルメットとして「ゼニスZZ」が新戦力として加わりました。

JIS C種をクリアする強度はもちろん、快適性や機能性を大幅にアップさせる各種装備を施しながら、手軽な価格を実現。さらにシチュースにジャストフィットするオシャレな外観も、軽二輪のライトスポーツユーザーに最適でビギナーからベテランまで幅広いお客さまに満足を与えます。

ゼニスZZの群を抜くコストパフォーマンスを、より多くのお客さまにご案内ください。

ゼニスZZの主な特徴

- FLEX-FRP II 積層構造
- ダイレクトベンチレーション 装備
- シールドと帽体が密着し雨だれを防止する中空トリム
- ポリカーボネイト製1.5%厚ライトスモーク両面ハードコート3次曲面シールド
- メッシュ+起毛、包み込むフィット感を持つニューフィット内装
- ノンビスタイプのサイドキャップ
- サイドの視界を最大限に確保した新カットングライン
- 前面のベンチレーションとの相乗効果で抜群の通気性を確保するアウトレットシステム

New
MODEL

仕様



E S P O R T S M O D E L S

'93年2月25日
新発売

'93ヤマハスポーツ

TZR250R

サーキットが育てた本物の走り

↓ '93ヤマハスポーツ

TZR250RS

'93年1月8日
新発売

メーカー希望小売価格：¥699,000 TZR250RS、¥659,000 TZR250R

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：ブルーイッシュホワイトカクテル1
(TZR250RS、TZR250Rとも)



ワークスレーサー直系の90度1軸V型2気筒・水冷2サイクル・クランク室リードバルブエンジンをアルミ製デルタボックスフレームに搭載した「TZR250RS」と「TZR250R」が、93年マイナーチェンジを受けて登場します。

両車とも現行モデルを基本に、モーターサイクル初のデュティ制御オイルポンプの採用によるオイル消費量の大幅な低減やキャブレターセッティングなど、細部にわたる見直しにより、トータルバランスを一段と向上させています。

また、TZR250RSは、フロントフォーク、リヤアーム、リヤサスペンション、クイックファスナ式フェアリング固定、乾式クラッチなど、SP仕様と同様の装備を有し、操作性に優れています。

■'93 TZR250RS、TZR250R仕様 ()内はTZR250R

●全長1960mm●全幅680mm●全高1075mm●シート高780mm●軸間距離1340mm●最低地上高135mm●乾燥重量126kg●エンジン・2サイクル・水冷・クランク室リードバルブ・V型2気筒・249cc●内径×行程56.0mm×50.7mm●圧縮比7.5:1●最高出力40ps/8,500rpm●最大トルク3.6kg-m/7,000rpm●始動方式キック式●潤滑方式分離給油●オイル容量1.5ℓ●燃料タンク容量15ℓ●キャブレター型式TM28 S×2●点火方式C.D.I●クラッチ型式乾式多板(湿式多板)●変速機常時噛合式前進6段●タイヤサイズ(前)110/70R17 54H(後)150/60R17 66H●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式シングルディスク

12月8日新発売

国内限定500台

妥協のない走りに、さらなる磨きをかけて。

FZR400RR-SP

'93ヤマハスポーツ

メーカー希望小売価格：¥890,000 (北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。
カラーリング：ブルーイッシュホワイトカクテル1

4サイクルレプリカ車の雄として、絶大な信頼を得る『FZR400RR-SP』が、ワークスイメージをダイレクトに受け継いで登場です。

'93年モデルは、頂点モデルを目指す市場の声にこたえて「SP仕様」のみの設定。強化クラッチ、水冷オイルクーラー、大型ラジエーター等を標準装備する現行のSP仕様をベースにφ32%のフラットCR型キャブレターを搭載し、より一層リニアなレスポンスを達成しています。

■'93「FZR400RR-SP仕様」仕様諸元

●全長1975mm●全幅705mm●全高1090mm●シート高760mm●軸間距離1365mm●最低地上高125mm●乾燥重量160kg●エンジン・4サイクル・水冷・DOHC 4バルブ・並列4気筒・399cc●内径×行程56.0mm×40.5mm●圧縮比12.2:1●最高出力53ps/12000rpm●最大トルク3.7kg-m/9500rpm●始動方式セル式●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ●オイル容量3.5ℓ●燃料タンク容量15ℓ●キャブレター型式FCR32×4●点火方式フルトランジスター●クラッチ型式湿式多板●変速機常時噛合式前進6段●タイヤサイズ(前)120/60ZR17(後)160/60ZR17●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式シングルディスク



HIGH PERFORMANCE

ラジアルタイヤ装着で操安性をアップ

R1-Z

'93ヤマハスポーツ

12月24日
新発売

メーカー希望小売価格：¥499,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。
カラーリング：フロストシルバー、ブルーイッシュホワイトカクテル1



■「R1-Z」仕様諸元

●全長2005mm●全幅700mm●全高1040mm●シート高775mm●軸間距離1380mm●最低地上高135mm●乾燥重量134kg●エンジン・2サイクル・水冷・クランク室リードバルブ・並列2気筒・249cc●内径×行程56.4mm×50.0mm●圧縮比6.4:1●最高出力40ps/8500rpm●最大トルク3.4kg-m/7500rpm●始動方式キック式●潤滑方式分離給油●オイル容量1.2ℓ●燃料タンク容量16ℓ●キャブレター型式TM26SS×2●点火方式C.D.I●クラッチ形式湿式多板●変速機常時噛合式前進6段●タイヤサイズ(前)110/70R17 54H(後)140/70R17 66H●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式シングルディスク

流行のネイキッドスタイルとレプリカの血を引く走行性能で安定した人気を保つ『R1-Z』は、走行性能、快適性、外観商品性、対環境性などの向上を目的に細部にわたる見直しを受けました。

まず走行性能では前後にラジアルタイヤを装着したことにより、ワイドトラストフレームとの相乗効果で操縦安定性を大幅にレベルアップ。排気煙とオイル消費量の低減を図りながら中速域でのトルク特性を向上させたエンジンとともに、2サイクルらしい軽快な走りに一層の磨きをかけています。

また、エンジンマウント方式の見直しにより振動を低減させるとともに、ハンドルクラウン、ヘッドライトトリム、メーターパネル、ミラーの外観処理を変更。商品性をアップしています。





タフでオシャレなメカニックスーツ
RY-729/RY-730

新発売

作業性を重視したデザインと、いつまでもソフトな風合いを保つ新快適素材を採用。メカスタッフのための機能をフルに装備したワーキングウェアです。

RY-730メカニックスーツ ¥6,400

【素材】綿100% 【サイズ】M、L、LL、3L
【カラー】レッド、ブルー、アースグリーン、キャメル、グレー



5色のカラーバリエーションとやわらかな着心地。ダブルポケット（右側フラップ付ペンホルダー）肩ペンホルダーなど、作業性の高いデザインとなっています。

RY-729メカニックスーツ ¥8,200

【素材】綿100% (HI-JUST) 【サイズ】M、L、LL、3L
【カラー】レッド、ブルー、グリーン、グレー



いつまでも変わらないソフトな風合いを持続する高機能素材“HI-JUST”を使用。ダブルポケット（右側フラップ付ペンホルダー）肩ペンホルダーなど装備。オシャレなバックプリント入りです。

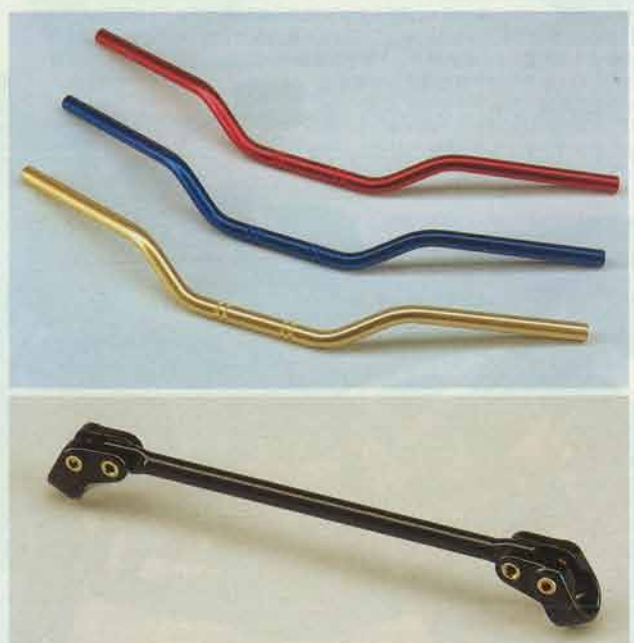


ウッズライディングをオシャレに演出
セロー用 **アルミカラーハンドル & ブリッジ**

フロント回りの軽量化とともに、鮮やかなアルマイトカラーで“SEROW225”をオシャレに機能的に演出するアルミ合金製カラーハンドルです。色はゴールド、ブルー、レッドの3色。本体のカラーバリエーションに合わせてコーディネートできます。

また、補強パーツとしてハンドルブリッジも同時発売。アルミ合金製ブラックコーティング仕上げで、よりハードなライディングをサポートします。

| 名称 | 部品番号 | 小売価格 | |
|----------|-------------|-------------|-------|
| アルミハンドル | ゴールド | 90793-66104 | 5,500 |
| | ブルー | 90793-66105 | 5,500 |
| | レッド | 90793-66106 | 5,500 |
| ハンドルブリッジ | 90793-66107 | 2,500 | |



FROM SAFETY

寒い冬、を暖かく乗り切る 防寒対策は念入りに!

ブ ルブルッ、と思わず身が縮こまる冬の朝。ちょっともうバイクは……とつい尻ごみしがちな季節です。

それでも、冬が寒いのはあたり前とばかりに元気に走り出すライダーも随分見かけますし、寒さにくじけた自分が少し情けなくなつて「明日はオレも乗ろうか」と思ったりしました。

クルマと違って、バイクはライダーが直接外気と触れ合う乗り物ですから、四季折々、自然の移り変わりや天候の変化をより身近かに感じられるところが大きな魅力。夏の暑さや冬の寒ささえ楽しんでしまうライダーたちには豊かな柔軟さ、たくましさを感じます。

しかし、セーフティライディングの面から考えると、暑すぎたり寒すぎたりするのは、なによりライダーの身体の負担を大きくする点で明らかなマイナス要因となるのです。

とりわけ冬は、夏と比べて乗車機会がかなり少なくなることからわかるように、ライダーにとって最も厳しい条件だといえます。

寒さは気合いでぶっ飛ばす、というファイトは大変素晴らしいことですが、体は正直なもの。あちこちの筋肉や関節が緊張してガチガチになり、思うように体が動かなくなるばかりか、精神的な緊張も重なって、疲労は加速度的に増大します。

いかにバイクの性能がアップしてきたとはいえ、あくまで操縦するのは人間。それが、こんな状態ではまともに走れるわけがありません。

そのために、冬でも快適なライディングができるよう、ぜひしっかりした防寒対策が必



要なのです。

寒 さを防ぐ方法としてまっさきに考えるべきことは、まずウェア。

単純に外気から体を護る、というよりは、いかに体温で暖まった空気を逃がさず着込むかがポイントです。

下着は、肌と密着するので汗をよく吸い、湿り気で逆に体を冷やさないよう蒸散性の高いもの。ポリプロピレンなど新素材製を選ぶのがベストです。

次に、インナーウェアはウールセーターのように保温性の高いもの。なるべく新しいふっくらした厚手がいいようです。

アウタージャケットは、外気をシャットアウトし、汗の放湿性に優れ、しかも少々雨にはビクともしないという新素材製品が数多

く売られています。

注意したいのは、重ね着をすることで保温性を高めるために着ぶくれ過ぎること。あくまで運動性をさまたげないものを選んで枚数調整しましょう。

そのほか、首まわりやソデ口の密封、腰まわりのズリ上がりも要注意です。

意外に見逃しがちなのは、足先や指先。シューズやグローブの断熱、保温性と操作性をよく考えてセレクトすれば、防寒対策はほぼ万全です。

あとは、ツーリングの最中にどうしても寒い時、カップを着込むとか熱いウドンを1杯すするといった方法も効果的。そんなアイディアをお客さまと出し合って話のタネにすると、冬のライディングもより楽しくなるでしょう。

読んで、正しく、安全運転。

●原点にもう一度 ● 初歩的な違反事故をなくしましょう。

わかりやすい「バイクと法令」監修 警察庁交通局
原付用「学科試験模擬テキスト集」



これから取る方にうれしい2冊
バイク「免許皆伝」!
もう取った方にうれしい1冊

お求めは…二善協加盟の二輪販売店で。



見る・見られる・いい運転。
●バイクは愛車もライフスタイル
●カーブで安全では、スローステップアップ

Y. E. S. S.

YES年費システム変更 1年ごとの自動振替へ移行

たびたびヤマハニュースやWAY等でお伝えしておりますように、'93年以後のYESは、スタッフのみならずにより良いサービスをご提供し、またYESショップのみならずへの支援策を充実化するために、スタッフの年会費制と更新方法を改善いたします。

①2年、3年会員を発展的解消とし、

(注)自動振替を希望しないお客さまには、その意志を十分尊重するシステムも実施いたします。

②更新は、送られて来た更新確認書と自動振替用紙に記入、捺印の上、1週間以内にYES事務センターへ返送してください。

●更新を希望しない場合は、更新確認用紙、自動振替用紙を返送しなければOKです。

③YES UC/VISAカードの会員は、特に手続きを行わない限り、そのまま自動更新されます。

●YES年費2060円、UC/VISA年会費287円も自動引落しのまま継続します。

●更新しない場合は、第一勧業銀行に備え付けの退会届と、使用中のカードをハサミで切ってからYES事務センターに返送してください。

そのほか、詳しくは各ヤマハ営業所のセールスマンにおたずねください。

SUGO

いよいよ遊びも冬じたく スキースクール&お正月パック

顔にあたる風がずいぶん冷たく感じるこの頃、冬を迎えるにつれ、冬休みはどう過ごすか、なんてプラン作りにも力が入りますね。

そこでぜひ注目いただきたいのが、SUGO自慢の恒例バックツアー「わんぱく/ジュニアスキースクール」と「お正月パック」です。

顔にあたる風がずいぶん冷たく感じるこの頃、冬を迎えるにつれ、冬休みはどう過ごすか、なんてプラン作りにも力が入りますね。

そこでぜひ注目いただきたいのが、SUGO自慢の恒例バックツアー「わんぱく/ジュニアスキースクール」と「お正月パック」です。

スキースクールは、プロのインストラクターによるキメ細かな指導と、お子さまのレベルに合わせたグループ別カリキュラムで、安心してお任せいただける内容が自慢。

ゲレンデも、雪質の良い蔵王白石スキー場を用意しています。

お正月パックのほうは、何と

も至れり尽くせりの豊富なサービスが魅力。初日の出ヘリコプター遊覧飛行や、年越しソバサービス、もちつき大会など、お正月に欠かせないうれしい特典ばかりを目いっぱい詰め込んだスペシャルメニューです。

お子さまへのプレゼント、久しぶりの家族サービスに、大いにご利用ください。

●わんぱく/ジュニアスキースクール対象/わんぱく・小学3年～6年生
ジュニア・中学生・高校生
日程/12月26日(土)～30日(水) 4泊5日

会場/スポーツランドSUGO、宮城蔵王白石スキー場
定員/各80名
料金/わんぱく・東京発 62000円
仙台発 53000円
ジュニア・東京発 70000円
仙台発 54000円

●お正月パック
期間/92年12月31日～93年1月2日
料金/おとな・18000円(1名)
子ども・13000円(1名)
※1泊2食付 サービス料含む、消費税別。2名以下でお申込み

の場合は、1名あたり2000円アップとなります。

サービスメニュー例/①初日の出遊覧飛行 ②新聞サービス ③ポラロイドカメラ撮影サービス(期間内) ④年越しソバ ⑤年忘れ大ゲーム大会 ⑥おとそサービス ⑦お酒無料サービス(鏡割り) など。

※詳しくは、SUGO東京(03-3575-4771)、仙台(02-2483-4711)までどうぞ。

A D

ON AND OFF

陸と海、2つの大きなフィールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドの数かずをご紹介する番組です。巧みなカメラワークを駆使した美しい映像と選び抜いたBGMで、話題性に富んだテーマをスポーツマイナンドたつぷりにお届けします。

▼12月5日(日)「ベイック編」

「マシンが見る夢―山川健―」

12月のヤマハ提供番組

▼12月12日(日)「マリネ編」

「ヨット単独世界一周―白石敏次郎」

▼12月19日(日)「ベイック編」

「ナチュラルクッキング―太田潤」

▼12月26日(日)「マリネ編」

「ニッポンカップマッテレース」

※都合により、一部内容が変更となる場合があります。

※一部地域では放送日が異なります。

テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪

テレビ愛知、テレビせとうち、ティー・エックス・エヌ九州/毎週土曜日18時30分から18時45分。静岡放送/毎週日曜日10時45分から11時。東北放送/毎週金曜日24時40分から24時55分。テレビ新広島/毎週木曜日24時35分から24時50分。

テレビ愛知、テレビせとうち、ティー・エックス・エヌ九州/毎週土曜日18時30分から18時45分。静岡放送/毎週日曜日10時45分から11時。東北放送/毎週金曜日24時40分から24時55分。テレビ新広島/毎週木曜日24時35分から24時50分。

テレビ愛知、テレビせとうち、ティー・エックス・エヌ九州/毎週土曜日18時30分から18時45分。静岡放送/毎週日曜日10時45分から11時。東北放送/毎週金曜日24時40分から24時55分。テレビ新広島/毎週木曜日24時35分から24時50分。

●オリジナルコンサート
私たちの創った世界
世界各国で精力的に活動が続いている(財)ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」。そこで育った世界の子どもたちによる自作自演コンサートの模様をお届け

●お正月パック
期間/92年12月31日～93年1月2日
料金/おとな・18000円(1名)
子ども・13000円(1名)
※1泊2食付 サービス料含む、消費税別。2名以下でお申込み

●お正月パック
期間/92年12月31日～93年1月2日
料金/おとな・18000円(1名)
子ども・13000円(1名)
※1泊2食付 サービス料含む、消費税別。2名以下でお申込み



実技はマスタークラスがSRV250、ベーシッククラスはJOGを使用。迅速な判断と作業が要求された



日頃の接客態度がそのまま評価につながる接客競技

《入賞者》

■マスタークラス

優勝 東京ブロック 蕪木勝彦 (YSP千葉北)
 準優勝 北海道ブロック 高野英行 (YSP札幌南)
 第3位 関西ブロック 松本 崇 (YSP吹田)
 優良賞 九州ブロック 角 恵介 (プロサイクルショップ田中)
 優良賞 中部ブロック 平野勝憲 (YSP浜北大橋)
 優良賞 中国ブロック 片山 功 (YSP広島北)
 優良賞 関東ブロック 高木健祐 (マルエムサイクル)
 優良賞 東北ブロック 八木慎夫 (YSP鷲の宮)
 優良賞 関東ブロック 山口秀輝 (山口輪店)
 優良賞 中国ブロック 馬坂芳和 (タイショー)

■ベイシッククラス

優勝 四国ブロック 岩崎正幸 (YOU SHOP風倶楽部)
 準優勝 東京ブロック 白石 明 (YSP蒲田)
 第3位 北海道ブロック 林崎浩治 (柳スナダオート)
 優良賞 北東ブロック 柿岡敬昭 (YSP東小金井)
 優良賞 北東ブロック 嶋田佳幸 (YSP飛鳥)
 優良賞 九州ブロック 森川清治 (YOU SHOP深谷)
 優良賞 九州ブロック 井口 淳 (モトショブ蓮山)
 優良賞 九州ブロック 松家晃一 (サイクルハウス松家)
 優良賞 九州ブロック 西屋敷工 (YSP鹿児島)
 優良賞 北東ブロック 斉藤幸紀 (斉藤長之助輪店)

「技術とまごころで新たな感動を」 '92ヤマハスタートーナメント全国大会」開催

サービスマンの技術力や接客態度など、総合サービス力の向上を目的とし平成元年から開催されている「ヤマハスタートーナメント全国大会」が、10月28、29日の2日間にわたり、今年も静岡県のヤマハリゾート「つま恋」で開催されました。

昨年まではヤマハ専売店のサービスマンと、ヤマハ販売会社のサービスマンを対象に開催されていましたが、「スタート店制度」の充実にもない、今大会は全国のスタート店に従事するヤマハ二輪車整備士を対象に実施されました。また今回から競技クラスをマスタークラス、ベイシッククラスの2部門に設定。全国1500店、4000人の整備士から各ブロック大会を勝ち抜いた



優勝したマスタークラスの蕪木さん(右)とベイシッククラスの岩崎さん



競技後の懇親会は終始なごやかな雰囲気。ゲーム大会では、サービスマンとヤマハ社員との親睦も深めることができた

てきた、マスタークラス19人、ベイシッククラス18人によって、日頃身につけたサービス力を競い合いました。競技は、28日に学科競技、翌29日には実技、見直し、接客の各競技4部門。ヤマハの販売店は一味違う、とお客さまに期待以上の満足を与えるサービスマンを目指そうとの願いを込めてあげられた。技術とまごころで新たな感動を、のスローガンにふさわしい、ハイレベルな争いが展開されました。

優勝したのは、マスタークラスがYSP千葉北の蕪木勝彦さん。ベイシック

クラスはYOU SHOP風倶楽部の岩崎正幸さん。蕪木さんは「ぜひとも優勝したかったので、本当に嬉しい」と岩崎さんは「自分が優勝できると思わなかった」と感想をのべてくれました。

競技終了後には懇親会も開かれ、日頃会う機会の少ない各地区のサービスマンが情報交換をするなど親睦を深め、有意義な時間を過ごしました。

浅見さんがシャケさんが平さんが 往年の走りをサーキットで披露

かつてロードレース界で大活躍したヤマハワークスライダー浅見貞夫さんや、シャケさん、こと河崎裕之さん、そして平忠彦さんが、再びサーキットで白熱のバトルを展開する……。そんな夢の競演が、全日本ロードレースの



成績は今ひとつだった平さんだが、レース後スタンドにブーツを投げ込み、ファンの声援に応えた

最終戦「MFJグランプリ」のなかで実現しました。11月1日、茨城県・筑波サーキットで開催されたこの大会は、GP250ccクラスでヤマハの原田哲也がチャンピオンを決めるなど、話題の多いレースでしたが、アトラクションのOBレースとして懐かしき名ライダーたちが登場すると、ひととき大きな歓声が沸き起こりました。

ヤマハの3人がFZR250Rに、そして、水谷、阿部、清原、木下らもそれぞれ250cc4ストローク市販車にまたがり、久しぶりの感触を楽しむように、しかしあくまで真剣に火花を散らし合う姿はまさしく現役さながら。惜しくも表彰台を逃がしたヤマハ勢ですが、スタンドからの惜しみない拍手を浴び、気持ちよさそうに手を振って笑顔を見せていました。

JOG&小林聡美さんのテレビCM ACC優秀賞を獲得!

昨年7月から今年7月までに発売されたコマーシャルを対象とした全日本CM協議会(ACC)のコンテストで、ヤマハJOGがテレビCM部門優秀賞に輝きました。

『第32回ACC全日本CMフェスティバル』と銘うったこの賞は、今年で32年目を迎え、日本のCM文化の発展に大きく寄与してきた栄誉あるもの。効果性、獨創性、倫理性などを審査基準とし、わずか30秒のなかでいかにうまく構成されているかが厳しく問わ

「いいなあ、コレ」のフレーズで有名なタウニイ&藤辺貞夫さんのCMも、'80年に同賞を受賞し、ACC殿堂入りを果たしている



優秀賞

主催: ヤマハ発動機株式会社

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会

協賛: 全日本CM協議会



日本一厳しい『日高エンデューロ』で ヤマハ車ライダーが大金星!

気軽に参加できるレースカテゴリーとして、ここ数年競技人口を飛躍的に伸ばし続けているエンデューロ。

内容やレース形態もさまざまで、自分のレベルに合った楽しみ方ができるのが大きな魅力ですが、そのなかで日本一苛酷なレースといわれ、エンデューロファンが目標になっているのが『日高2DAYSENデューロ』です。毎年秋、北海道・日高町周辺の林道や特設会場を使って開催されており、5年目の今年も10月9日から11日まで、324台のエントリーを集めて行なわ

れました。

コースは湿地帯や川、林道などバラエティに富む1周約100km。北海道の大自然が舞台だけに、景色を楽しみながら走れる。なんて思ったら大間違。初日の予選を通過するだけでも大健闘といわれるほどの難コースに加え、今年は前日の雨でさらに条件が厳しくなり、決勝に進出したのはわずか44台、全体の約14%にすぎませんでした。

ところが、そんな状況をものともせずにはばらしい活躍を見たのがYZ



*路面状況は最悪。道なき道をゴールめざして走る



2日間を通して完走したのはたった16台。そのうち4サイクル車はわずか4台。セローのねばり強いエンジンの能力が最大限に発揮された結果だ



初日の予選。1周約100kmのコースを2周する予定を急きょ1周に変更。午前7時に1分間隔に5台ずつがスタートした

250WRで出場した鈴木秀明さん。MXの元ヤマハワークスライダーらしいまさと、秀明さんならではの体力で難コースを攻略し、見事に総合優勝を飾りました。

「優勝したことより、まず完走できたことのほうがうれしい。今年で4回目の挑戦だけど、沢渡りやガレ場の登りとか、今回が一番きつかったよ」

秀明さんをしてここまで言わせるレース、総合3位にもWR250Zの神田裕さんが入賞。さらに、4サイクル車では完走さえ難しいとされるなか、セロー1225を駆った松井秀さん、岸井丈太さんも総合で8位、15位に入る快挙を成し遂げています。ヤマハ勢のタフな強さが光った大会でした。

農業の近代化を目指して 産業用無人ヘリ競技会が開催

農業の近代化を推進するためにヤマハが開発した産業用無人ヘリコプター『R-150』は、(株)農林水産航空協会の性能確認検査によってその高い使用効果が認められ、現在では水稲防除を目的に全国各地で実用化されています。またそれに伴いオペレーターも飛躍的に急増し、すでに1000名を数えるまでになりました。

さて、このような無人ヘリコプターを取り巻く環境の中で11月5日(木)、産業用無人ヘリによる作業の推進と安全運行の啓発を目的に、『第1回全国産業用無人ヘリコプター競技大会』(主催：(株)農林水産航空協会 全国産業用無人ヘリコプター推進協議会)が栃木県農業試験場で開かれました。

当日は全国各地で活躍する60名のオ

ペレーターが参加。日頃培った操縦技術を競い合うとともに、会員相互の親睦を深めました。普及活動もますますさかんな無人ヘリコプターは、近代農業の最先端と言えるかもしれません。



オペレーターは全国で約1000人。着実に定着する無人ヘリは、近代農業の担い手

『スーパーカープSS250』で TZR250R東西地区を制覇

市販車2サイクル250ccクラスのNo.1を争う『スーパーカープシリーズ』

SS250』で、ヤマハTZR250Rが東日本、西日本の両リーグチャン



西日本では、山崎選手に次いで2位、4位もTZR (写真提供：月刊サイクルサウンズ)

ピオンに輝きました。このレースは、国際A級入りを旨とする国内A級ライダーたちがしのぎを削る激戦区。改造範囲の少ないレギュレーションのもと、マシン選択、セッティング技術、ライディングの技量がトータルに問われます。

そのなかで、西日本を山崎幸夫選手(RSS原口)が全10戦中4勝2位2回、東日本では田口博行選手(TEAMモトスポーツ)が全5戦1勝3位1回の好成績をあげ、TZRのポテンシャルを証明してくれました。

来年以後、彼らの活躍が楽しみです。

世界初? JOG 24時間耐久レース ノントラブルで無事完走!

今年、アクシス・プロフットで無給油走行チャレンジを行なった話題をお伝えしましたが、ハンガリーではJOG (CY50) を使って24時間耐久レースに挑戦しています。

これは、現地「オートモーターマガジン」が企画し、ヤマハインポーターのヤマト・ハンガリアが協力して実現したスペシャルイベント。

2名のスーパーバイクライダーチームと、オートモーターマガジン記者2名のチームによるマッチレースで争われ、当日はテレビや新聞、雑誌などが

らも取材者が多数集まり大変な注目を浴びました。

そのなかで、2台のJOGは給油とオイル交換、ライダー交代をくり返しながらフルスピードで疾走を続け、24時間後、見事に2台ともノントラブルでゴール。驚くべき耐久力を実証しました。

勝ったのは420kmを走破したスーパーバイクチーム。非公式ながら、50cc部門での24時間連続走行最長距離という世界記録も達成しています。



ヨーロッパでも人気のJOG。このレースでさらに評価を高めた

Jリーグ入りへヤマハFC好発進 ブッチギリのJリーグ独走優勝



優勝セレモニーでは、打ち上げ火花や数千の風船が飛びかうなか、長沢監督や森下主将などが次々に胴上げされた

7月5日に開幕した「第一回ジャパンフットボールリーグ (Jリーグ)」最終節が10月18日に全国各地で行なわれ、今シーズンの熱戦に幕をおろしました。

そのなかで、Jリーグ加入をめざしてプロ化をはかったヤマハフットボールクラブ (ヤマハFC) は、すでに最終節を待たずに優勝を決定。トータル13勝無敗5引分けという圧倒的な強さを見せつけました。

また、アジア選手権の日本代表としても大活躍した中山選手が13得点をあげて得点王、カルロス選手もアシスト王をそれぞれ獲得しています。

長澤和明監督は「上にJリーグがあるし、手はなして喜んでほしい」とと兜を締め直しながらも、「負けられない」というプレッシャーに耐えて勝利



*Jリーグ入りするには来シーズン2位以内が条件。次こそが正念場となる

を重ねられたことはうれしい。これからもチーム一丸となってJリーグ加入に向けてガンバっていききたい。ご声援よろしくお願ひします」と力強くコメントしてくれました。

意外? 当然快挙!! 『四十雀TR』勝者の素顔は!!

ロードレース、モトクロスと比べると派手さはないものの、トライアルはセクションひとつひとつと対話しながら攻略ルートを探り、マシンを自分の手足のように操って走破する達成感、征服感が大きな魅力。

性別を問わず、子供から年配者まで大変親しみやすいことから、幅広い愛好者の根強い支持を得ています。

そんななか、参加資格を40歳以上としたユニークな大会「四十雀トライアル」が、10年目の今年も10月25日、京都府・亀岡トライアルランドに92名のエントリーを集めて開催されました。

日頃ムスカしい顔をして仕事に取り組むオジサンたちも、この日ばかりは少年のような輝いた表情で各セクションにトライ。真剣に、なごやかにモータースポーツを楽しんでいました。

優勝は、大会最年長の66歳、堀内浩太郎さん。

アレっ? とお気づきの方も多いでしよう。実はヤマハ発動機の重役、マリン事業本部長その人なのです。

が、トライアル歴15年、四十雀出場4回の腕前はホンモノ。発売直前のTY250Zを駆り、若いモンを尻目に披露したライディングは見事でした。



「22PSなんて扱えるか心配だったけど、実に軽くコントロールしやすいマシンだったので本当に楽しめた」とは堀内重役のTY250Z評

'92 YAMAHA NOVELTY

パーティプレゼントに

■レザー名刺入れ
(No.373087/3,800円)
ビジネスマン必携アイテムの名刺入れ。上質の牛皮を使用し、あなたのビジネスライフをさりげなくおしやれに演出します。



■ビジネスコールウォッチ
(No.373104/32,000円)
生活強化防水、ローカルタイム、クロノグラフに加えアラームタイマーも兼ねる多機能ウォッチ。シックなデザインと皮バンドで大人の野胆気をアピールします。

■スキットル (No.373009/5,500円)
高級感あふれる皮巻きスキットル。お気に入りのお酒を入れて、ツーリング先の宿で冷えた体をあたためてください。





●全日本トライアル選手権シリーズ第7戦・中部大会
中川ランキング5位
伊藤9位でシリーズを終了

10月18日、岐阜県の「遊らんど坂内スキー場」で開催された最終戦で、伊藤敦志がTYMからTY250Zに乗りかえて参戦。第6戦から中川義博もTY250Zで出場しており、ヤマハワークスの2人は市販車をベースとしたマシンで競技に臨んだ。

同会場で行なわれた昨年の最終戦、2人は激しいタイトル争いをし観客をわかせている。今シーズンもそれ以上の活躍が期待されたが、レースの結果は中川5位、伊藤が8位。シリーズランキングも5位、9位にとどまった。

結果的に未勝利に終わってしまったが、来期に向けての明るい材料があることが、



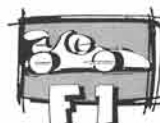
「TY250Zのポテンシャルは高い」と話す中川。来期は正念場の年

レース後の2人のコメントに伺える。

「不本位な成績に終わったが、TY250Zのポテンシャルは上がっている。来年は巻き返しを図りたい」と中川。

伊藤も「マシンとのマッチングに終始した感のある1年だったが、シーズンオフにこのデータをもとに、時間をかけてマシンを煮詰め来年につなげたい」とこたえた。

TY250Zをつくりだしたヤマハチーム。来年はこのマシンで本来のトライアルを披露してくれるだろう。「このままでは気がおさまらない」という伊藤の言葉に、来年の成果を期待したい。



F1 ティレル・ヤマハ チーム発足
ヤマハはV10エンジンを開発

ヤマハ発動機株は、イギリスのティレル・レーシング・オーガニゼーション・リミテッド（代表ケン・ティレル）と、'93年からフォーミュラーワン世界選手権シリーズに参戦するための2年契約に正式に調印。ティレル・ヤマハチームを結成し、エンジン、シャーシの開発など、すべての作業を共同で行なうことになった。

同チームが使用するエンジンはV10。ヤマハ発動機とエンジンデベロップメント リミテッド（代表ジョン・ジャッド）が共同開発を行なうものだ。

ティレルは'71年にコンストラクターズ、チャンピオンを獲得。'73年にはドライバーズ・チャンピオンを獲得しているイギリスの名門。このジョイントに対し、代表のケン・ティレル氏は「我々は25年間の歴史の中で、初めて強力なエンジンメーカーからファクトリー体制の援助を得られることになった。この契約を幸運に思う」と話した。また、ヤマハ発動機の長谷川武彦専務は、「地球環境問題をはじめ、自動車産業を取り巻く環境は大きく変化している。高効率化や安全性などさまざまな面で最高のレベルが要求されるF1での活動は、当社の企業理念に合致する。今後ともF



来シーズンに向けがっちり握手をかわすケン・ティレル氏(左)とヤマハの長谷川専務

1の健全な発展を願い、モータースポーツの活性化と普及に努めたい」とコメント。気になるエンジンは、今年の終わりにからシャーシダイナモでのテストが開始され、'93年初頭には「ティレル・ヤマハ」のマシンでの走行テストが予定されている。また、今シーズンかぎりパートナーシップを解消する「サンル・ジョーダン ヤマハ チーム」は最終戦・オーストラリアGPで今シーズン初のポイントを獲得し、シリーズを終了した。

●全日本ロードレース選手権

第12戦・MFJ GP (11/1)

- <GP250クラス>
 ①原田哲也 ②西田慎智 ③岡田忠之
 ④高木宜篤 ⑤宇川徹 ⑥宮崎敬
 <GP500クラス>
 ①D・ビーティ ②K・マギー ③辻本聡
 ④岩橋健一郎 ⑤本間利彦 ⑥藤原儀彦
 <TTT-1クラス>
 ①塚本昭一 ②青木正直 ③宗和孝宏
 ④柳川明 ⑤武石伸也 ⑥水井康友

●全日本トライアル選手権

第7戦・中部大会 (10/18)

- ①成田匠 ②P・クトリエ ③前野英
 ④小谷徹 ⑤中川義博 ⑥内田哲也





●全日本ロードレース選手権シリーズ第12戦・MFJGP
原田哲也250ccチャンピオン決定！
最終戦をポール・トゥ・ウイン
 GRANDPRIX



最後までアクセルをゆるめなかった原田。世界へを期待する周囲の声もさらに大きくなった

GP250の事実上の開幕戦で、トラブルによるノーポイントに終わって以来ひたすら速く走ることだけを目標にシリーズを戦って来た原田哲也が、11月1日筑波サーキットでの最終戦で優勝を決め、同時に初のチャンピオンシップをも獲得した。

第11戦での独走優勝の勢いをそのまま筑波に持ち込んだように、原田は予選から好調。一回目の予選で早々とコースレコードを樹立し、ポールを獲得。翌日の決勝でも好スタートを切り、1周目をトップで帰ってくる。

ランキング2位の岡田とのポイント差11を考えると、6位以内に入ればタイトルが確定する原田だが、2周、3周とラップを重ねることに、2位集団との差を広げはじめた。

中盤は完全な独走。これに対し岡田は匹田、青木との2位争い。終盤に入り、この集団から抜けてた匹田が原田を追う。



その差2秒ほどまで詰められた原田だが前半のリードを生かした走りですべて勝目のチェッカーを受けた。

「体力ないですから」と苦笑う原田。「今日もチャンピオンのことは考えず、最後まで勝つためのレースをしました。いつも攻めのレースができたことが、結果として良かったと思う。チャンピオンの実感はまだないですね」

89年にA級に昇格しランキング4位。90年からは常にタイトルを争ってきた原田。今シーズンは初戦でのノーポイントというハンデもあったが、ライバル岡田との1/10000秒のバトルを展開し、見事にこれに打ち勝った。

表彰台の中央に立つても、派手に喜びを表現することの少なかった原田だが、最終戦ではこの日のために用意されたチャンピオンTシャツを身につけ、素晴らしいシャンペンフライトを演じてくれた。

●全日本モトクロス選手権

| 250ccクラス | |
|----------|----------------|
| 1位 | E・ウォーレン(K) 343 |
| 2位 | 大河原功次(Y) 301 |
| 3位 | 鈴木健二(Y) 251 |
| 4位 | 大塚忠和(H) 250 |
| 5位 | 花田茂樹(K) 221 |
| 6位 | 田淵武(Y) 164 |
| 11位 | 光安鉄美(Y) 111 |
| 13位 | 増田智義(Y) 100 |
| 29位 | 川崎智之(Y) 24 |

●全日本トライアル選手権

| | |
|----|----------------|
| 1位 | P・クトゥリエ(A) 132 |
| 2位 | 小谷徹(B) 97 |
| 3位 | 三谷英明(H) 82 |
| 4位 | 泉裕朗(H) 82 |
| 5位 | 中川義博(Y) 71 |
| 6位 | 小林直樹(H) 69 |
| 9位 | 伊藤敦志(Y) 48 |

●AMAスーパークロス

| 250ccクラス | |
|----------|------------------|
| 1位 | J・スタントン(H) 331 |
| 2位 | D・ブラッドショー(Y) 328 |
| 3位 | J・M・ベイル(H) 320 |
| 4位 | M・キドラウスキー(K) 262 |
| 5位 | G・クーパー(S) 251 |
| 6位 | M・ラロック(K) 200 |
| 9位 | D・デュバック(Y) 157 |
| 10位 | J・エミッド(Y) 150 |

Racing
RExpress

まさかの最終ラップ マギー 無念のランキング2位



マギーがみせた後半の走りは、タイトルへの執念がうかがえた。ピーティを1.5秒も引き離していたのだが……



ウィニングランをするピーティに祝福の手を差しをける。全力を出しきったトップ争いにふさわしいさわやかなクールダウンは、多くの歓声につつまれた

「僕らは120%の力でレースをした。ただマギーが最後にミスをした。それだけのことなんだ」
激闘の34ラップを終え、優勝と同時に初タイトルを獲得したD・ピーティがお互いの健闘をたたえた。マギーが犯した最後のミス、最終ラップ、第2ヘアピンでのオーバーランが、ほぼ手中に収めかけたタイトルを逃してしまった。混戦を極めたGP500ccクラスを象徴するかのような、あまりに劇的な幕切れだった。第11戦とともに欠場し、その差1ポイントで最終戦を迎えたK・マギーとD・ピーティ。藤原儀彦もこれに加わり三つ

巴えのタイトル争いとなったが予選からマギーとピーティが他を引き離していた。決勝レースでもスタートから飛び出した2人。ピーティ、マギーの順でラップを重ね、6周目の第1ヘアピン、ピーティが少しアウトにはらんだところを、マギーがインから差す。
後続を引き離すハイペースでのトップ争いは、順位こそ入れかわることがないものの、その激しさを増していったが、後半に入るとマギーがピーティにつき離しはじめた。
30周目にはその差1.5秒。ピーティも必死の追撃を試み、最終ラップに突入した2人の差は0.2秒。テールをスライドさせながら第1ヘアピンに突入したマギー。その勝利を誰もが確信した次の瞬間、第2ヘアピンでマギーの駆るYZR500が、コースアウトを喫した。

「最終ラップであのようになんか思っている訳じゃない」と思っている今シーズン、500ccクラスで走るチャンスを与えてくれたヤマハスポンサー、チームの皆さんに感謝したい」とコメントした表彰台のマギー。ふてくされることなく、ピーティの健闘をたたえ、多くのファンの前で笑顔を見せたマギーに、チャンピオンよりも大きな拍手が送られた。

●'92年間ランキング (Y-ヤマハ H-ホンダ S-スズキ K-カワサキ A-アプリリア B-ベータ 数字は獲得ポイント)

●世界選手権ロードレース

| GP1 | GP2 |
|-------------------|------------------|
| 1位 W・レイニー (Y)140 | 1位 L・カダローラ(H)203 |
| 2位 M・ドゥーハン (H)136 | 2位 L・レジャーニ(A)159 |
| 3位 J・コシンスキー(Y)102 | 3位 P・F・キリ (A)119 |
| 4位 K・シュワッツ (S)99 | 4位 H・ブラドル (H)89 |
| 5位 D・チャンドラー(S)94 | 5位 M・ピアッキ (A)78 |
| 6位 W・ガードナー (H)78 | 6位 A・ブーチ (A)71 |
| 7位 J・ガリッガ (Y)61 | 7位 J・シュミット(Y)58 |
| 10位 R・マモラ (Y)45 | |
| 11位 N・マクケンジー(Y)37 | |
| 12位 M・デュハメル (Y)34 | |
| 15位 P・ゴタード (Y)18 | |

●全日本ロードレース選手権

| 500ccクラス | 250ccクラス |
|-----------------|---------------|
| 1位 D・ピーティ(H)150 | 1位 原田哲也(Y)161 |
| 2位 K・マギー (Y)148 | 2位 岡田忠之(H)145 |
| 3位 藤原儀彦 (Y)140 | 3位 青木宜篤(H)137 |
| 4位 本間利彦 (Y)117 | 4位 青木拓磨(H)111 |
| 5位 辻本聡 (H)99 | 5位 宮崎教 (Y)100 |
| 6位 岩橋健一郎 (H)92 | 6位 匹田裕智(H)99 |
| 7位 新成朗 (Y)85 | 7位 難波恭司(Y)92 |
| 10位 高橋勝義 (Y)49 | 8位 福智学 (Y)84 |
| 11位 片山龍二 (Y)49 | |
| 13位 東村伊佐三 (Y)20 | |

TTF-1クラス

| |
|----------------|
| 1位 塚本昭一 (K)158 |
| 2位 北川圭一 (K)149 |
| 3位 武石伸也 (H)141 |
| 4位 青木正直 (S)125 |
| 5位 永井康友 (Y)123 |
| 6位 柳川明 (S)114 |
| 9位 吉川和彦留(Y)79 |

●世界選手権モトクロス

| 250ccクラス |
|-------------------|
| 1位 D・シュミット (Y)416 |
| 2位 R・ムーア (Y)388 |
| 3位 E・エバートセン(K)362 |
| 4位 A・ブザール (Y)359 |
| 5位 T・バーカー (H)302 |
| 6位 R・ヘーリング (H)295 |
| 7位 M・ベルブーツ (Y)283 |
| 9位 P・ヨハンソン (Y)235 |
| 15位 P・ベコーネ (Y)109 |



チーム員の勧誘は店頭、しかも口頭で鶴原社長が行なう



YOU SHOP 鶴原さん 埼玉県 熊谷市

鴨下 弘 社長

「遊ばせる」のではなく「遊んでもらう」
お客さま主義のチーム運営が広げた
アットホームなレース活動



チーム員に聞きました YZ80で遊びのフィールドを もっと大きく広げたい

山地幸元さん(24歳・会社員)

■お店に足を運ぶようになったキッカケは？
「今年の6月、SRX600を探しに来たのがキッカケです。その後店長に誘われてミニバイクレースを始めたんですが、深い関係になったのはその頃からですね。気がついたらSRX600とTZ50、それと今回のYZ80でしょ。半年で3台も買っちゃいました」

■オフロードの経験は？
「まったくないんです。一から社長や店長に教えてもらおうと思っています。ミニバイクレースを始めた時もそうだったんですけど、一緒になって遊んでもらっているうちにハマっていくというか……。モトクロスの場合も、“一緒に遊ぶ奴この指とまれ”という声に僕がつけられたわけですね」

■YOU SHOP籠原さんの魅力は？
「遊びを通じて人間的な教育をしてくれているのがよく分かるんです。店と客以上の人間関係ができるんですね。それと何よりバイクを使ってこんな遊びができるんだというのを教えてもらった。これが一番の魅力じゃないかと思います」

YOU SHOP籠原主宰クラブ一覧

| 区分 | 名称 | メンバー数 | 主な活動 |
|----------|-------------|-------|-------------|
| ロードレース | TEAM TRS | 10名 | 地方選手権 |
| カートレース | TEAM TRS | 20名 | SLカートレース |
| ATVレース | Mud Crowd | 7名 | 全日本選手権 |
| ミニバイクレース | どんぐりの会 | 12名 | Y.E.S.S.レース |
| マリッジット | ダックアイランド | 15名 | ツーリング |
| ミニモトクロス | わんぱくクラブ | 14名 | 練習走行会 |
| モトクロス | TEAM TRS(仮) | 18名 | 練習走行会 |



結成間もないモトクロスチーム。YZ80のデビューで意気盛ん

「レース活動はあくまでも遊び方のひとつ、それ以上のなにものでもないわけです。だから勝った負けたは二の次で、なにより面白おかしく活動したい。それがウチのやり方です」
ロードレースをはじめとする各種レーシングチームの主宰者である鴨下社長が、チームの活動主旨をこう話してくれた。社長自身、10代の頃からロードレースやカートレース、さらには四輪レースにも首を突っ込み、レースとうまく付き合う方法を肌で知っている。そうした経験を踏まえての発言だろう。
「だからモトクロスのチームも、いままでのようにアットホームな組織にしたいと思ってるんです。もっともビギナーの集団ですから必然的にそうなるっちゃうと思うんですが笑」

今秋発足したモトクロスチームを含め、同店のお客さままで構成されるチームは合計で7団体。オフロードの普及のために以前からモトクロスチームの結成は考えていたが、ちょうど入門用とも言えるYZ80が発売となったことから話は急速に進行したという。「モトクロスやる奴、この指止まれ」という鴨下社長の呼びかけに、18人のお客さまが集まったそうだ。

「予想以上の反応でしたけれども、その予感があったんですね。どちらかと言うと、ウチはオンロードモデルに片寄ってたんですけど、今年はDT200WRが15、16台も出たんです。全国的な傾向だと思えますが、いままではなかった動きでしたから……」

さらに鴨下社長はオフロードモデルの盛り上がりを一層強くするために、今年から遊びのメニューに林道ツーリングを加えてみた。またオンロードモデルのお客さまを対象に、ATVレース観戦ツーリングを行なうなどオフへの興味を煽動している。

こうした活動の中で4名のお客さまがYZ



PW50による親子教室は、MXチームの予備軍？ 底辺拡大にも

80を購入し、モトクロスを始めた。既存のチームがあつたわけでもなく、ゼロからのスタートだけに大きな可能性を持った4台だと言えるだろう。

チーム員の募集は、店頭で、しかも口頭で行なった。もちろんオンロードモデルのお客さまや女性ライダーにも声をかけたそうだ。

「レースという言葉って、未経験者にはとても堅苦しく聞こえますよね。だから誘い方ひとつでお客さんの芽を摘んでしまう可能性もあるわけです。ウチとしては足を踏み入れにくい世界の入口を広げてあげるのが役割ですから、面倒でもひとりひとりに説明していると考えてるわけなんです」

10月18日には筑波サーキットオフロードコースで、チームとしてのデビュー戦を飾った。戦績こそ惨々だったが、その後は毎週末のように練習漬けだという。これこそ鴨下社長が求める理想のチームの在り方だ。

「遊ばせるんじゃないかって、遊んでもらう。これを私たちが間違えなければ、いいチームになるんじゃないかと期待しています」



白紙の土地に浸透の努力 若手店長のがむしやら1周年 新規店としてオープンしたお店の店名PR活動

かどま
YSP門真 大阪府門真市打越町28-6 ☎0720-83-1926

手 作りチラシを投函し
地域に新規店の存在をアピール

ひたむきさというのとはときに思いがけないパワーを発揮することがあるものだ、今回の取材を通してこんな認識を新たにしたい。

「とにかく先へ」商売という大きな山に取りついて、上へ、上へ。わずかな手掛かり足掛かりを確実につかんで、ねじふせるように山を登っていく。ペテランのアルピニストにはないバイタリテイにあふれるお店を今回は紹介しよう。

うかがったお店は「YSP門真」さん。大阪・梅田と奈良、京都・木津を結ぶ国道163号線沿いに立地する。瀟洒なブティック風の店舗がことさら人目を引くお店だ。

お店をリードする店長は犬村真さん28歳だ。まずは昨年10月にオープンしたお店設立の経緯にちよっと触れておこう。

「うちにはサイクルオート イヌムラという母体があるんです。これは父がやっている店ですね。この母体をベースに平成元年、YSP阪奈がオープンしました。YSP阪奈は兄が切り盛りしていきまして、僕もここで修行を積んだんです」

サイクルオート イヌムラとYSP阪奈はともに大阪・大東市にある。大東市は犬村さん一家にとつて、いわば「地元」だ。商売の方法も当然、地元を中心としたものになっているそう。

「YSP阪奈が軌道に乗って、それで



自店のチラシはもちろん、これはと思った他店のチラシもストック。「いいものは、どんどんとり入れます」



修理を依頼してきたお客さまのデータは、BIC VOCSで管理。いざというときすぐに役立つよう入力はこまめに行なう

はもう一軒支店を出そうということになった。そこで白羽の矢が立ったのが「ここ門真だったんです」
 ある程度耕された畑なら作物は育てやすい。しかし、犬村さんの目の前に広がるのは開墾されていない土地なのだ。犬村さんはどのように畝を入れて行ったのだろうか。

手作りのチラシは暖かみがあってコミュニケーション濃度も濃い
 手間はかかるけど告知の中心的な活動と考えています

「チラシは他店のものを参考にさせてもらっています。これはと思うようなチラシがあると、すかさずファイルしてね。効果？ いやあ、それはまだわからない。でもね、手作りのものは空

「まったく縁も絆もない土地ですから新規で店を開くことに不安はありました。でもね、発想を変えたんです。しがらみがないということは、白紙の状態じゃないかって。白い紙に僕がどんな絵を描いてもいい。YSP阪奈のころにはできなかった実験もできるじゃないかって。そこでまず取り組んだのが、店を知ってもらう。告知活動だったんです」
 例えば、チラシ。お店では従業員の鹿伏兎（かぶと）さんと手分けして、近辺の団地のポストにチラシを投函している。1回につきおよそ500部、拝見したチラシは手作りの暖か味あふれるものだった。

「まったく縁も絆もない土地ですから新規で店を開くことに不安はありました。でもね、発想を変えたんです。しがらみがないということは、白紙の状態じゃないかって。白い紙に僕がどんな絵を描いてもいい。YSP阪奈のころにはできなかった実験もできるじゃないかって。そこでまず取り組んだのが、店を知ってもらう。告知活動だったんです」

印刷物以上に効果が大きい
 口コミで流れるお店の評判

オープンして1年とちょっと。地域への浸透では印刷物と並んで影響度が大きい、と犬村さんがいらんでいるものがある。それは口コミの効果だ。
 「店の評判というのは信頼できる技術があるか、サービスはしっかりできてくるかが採点基準ですよね。でも、もうひとつ、入りやすい店かどうかというのもあるんですよ。例えば、ツーリングに行ったらお客さまのわくわく、ドキドキの体験を聞いてあげる。事故を起こしたお客さまには対応の仕方を誠心誠意教えてあげる。年配のお客さまがいらつしやったら、息子のようによい。逆に歳下のお客さまには兄貴のように、女の子ならときには彼氏の立場になることもある。バイクというハードな部分以外の、ソフト面でお客

さまの心をつかめたらこれは店の評価アップにつながると思いますよ」
 自分の店を持つようになってからよくわかったことがある、と言って犬村さんは店の評価についてこんな話も披露してくれた。

「うちではBIG VOCSを導入して活用しているんですが、情報の整理以外の面で思わぬ効果を発見したんです。それはお客さまのお金の受け渡しするときBIG VOCSに入力していることが、きっちりレジを打つと」と映るらしいんですね。「この店は怪しげな値段つけとらん」と安心するらしいですよ。こんなちょっとしたことが口コミで評判となって伝わっていくようですよ」

お店近くには大手電気メーカーの本社があり、関連のお客さまも来店することが多い。ちょっとした評判は風に乗って、すぐに広まるという。口コミ効果の魅力と怖さを犬村さんは感じている。

大学生協と共同で
 大学生のバイクライフを支援

YSP門真の名前を浸透させるにあたって、犬村さんがいま手にしている牌がある。
 門真市をはさんで寝屋川市と四條畷市には大阪電気通信大学があるが、こ



「お客さんが何を考えているのか、これを聞きだすのが接客の難しさであり、面白さでもあるんです」と犬村店長



大阪電機通信大学の生協の入口に貼られたYSP門真の案内。生協に行けば用品やカタログがあることは、学生には浸透しているようだ



修理車の引き上げをする鹿伏宛さん。見積り、修理期間など、不安まじりの相手に対し、丁寧な応対をしていた

口コミで伝わる店の評判は早く広くひろまる 接客の態度やお金に対する姿勢はきっちりせないかん思っています

の四條畷校の生協と提携し、学生のバイクライフをバックアップしているのだという。さっそく四條畷校の生協責任者、須田さんにお話をうかがった。

「当大学は学生数およそ6000人、うち工学部1年生の1100人がこの四條畷校に通学しています。この校舎は丘陵に建っていますので、学生は通学が大変ですね。多くがバイクを利用しています。そのバイクライフの安全面を含めたアフターケアを依頼できるお店を探していたんですよ」

続けて言う。

「なかには先輩からバイクを譲り受けるケースもかなりある。そうすると売った販売店とのつながりは希薄になりますよね。定期点検などもおろそかになる。それならうちが『アフター』の部分を受けましょう、と」

うかがった生協には、本や製図用具、生活用具と並んで、オイルやヘルメットが陳列されていた。春のキャンペーン期間には、スクーターも展示、説明会も開催されるという。生協の扉には、バイクのフルラインナップポスターと並んで「ご用命はYSP門真へ」というポスターが貼られていた。

「生協には常時、紹介チラシを置いてあります。生協で申し込んで来店されたお客さまにはある程度の優遇もしているんですよ」と犬村さん。

お店で買ったお客さま、いや、他店で購入されたお客さまも含めて「アフター」の部分はどのようにフォローしているのだろうか。

「店では生協さんの協力のもと、定期的に無料点検キャンペーンを行なっています。予約制で1回につき約30名さまを受け付けていますが、これが好評ですね。申し込み予約がすぐ満杯になりますよ」

さて、気になる効果のほどはといったようなのだろうか。

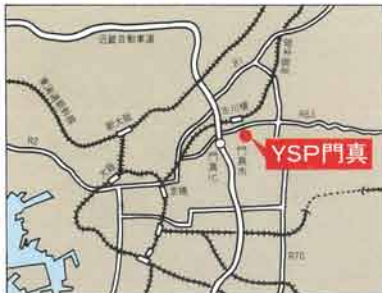


用品棚の前に、責任者の須田さんと在車の確認。特に消耗品であるオイルのストック量には気を使うという。

「うーん、うちの屋台骨を支えるところまではなかなかいいですよ。ハハ。でもね、門真にバイクライフを任せられるバイク屋がある、このことを知ってもらう効果は絶対あると思います。今は告知活動のひとつとして、将来へつながればと。地道で手間がかかるけど、大切な要素だと考えています」

生協で話をしていると、YAMAHA Aブルゾンが目立ったのだろうか、女子学生が犬村さんに近づいてきた。「あ、う、ジールが欲しいんですけど……」さっそく応対する犬村さん。大学のバイク屋さんとしての活動は犬村さん本人が考えている以上に大きな実をつけはじめてるんじゃないか、女子学生と犬村さんの姿をみてそんな風に感じた。

Hello NICE SHOP



■YSP門真

奈良、さらには京都の木津方面と、大阪・梅田を結ぶ国道163号線沿いに立地。膨張していく大阪経済圏の一角に位置し周辺は住宅・商業地区としてにぎわいを見せる。また、近には自動車試験場もあり、利用者の往来はかなり激しい。ショッピングセンターもある京阪電鉄京阪線・古川橋駅から近く、近畿自動車道・門真インターチェンジが最寄りの利用高速道路となる。

●オープン：平成3年10月 ●店舗規模：約80坪の敷地に、40坪のショールームスペース、10坪のサービススペース。来店されたお客さまのために20坪の駐車場も用意している ●展示台数：ショールーム内に12台のスポーツバイク、10台のスクーターをディスプレイ。店舗前オープンスペースにスポーツバイク、スクーターをとりまぜ10台を展示 ●商圏：門真市、守口市、四條畷市など国道163号線に沿って約半径5キロ ●クラブ：現在のところはない ●営業時間：午前10時～午後8時 ●定休日：毎週水曜日



前面がガラス張り、奥がミラー張り。外からも広く明るく見えるショールーム



道路側のスペースは、中からだけでなく、外から見の人にもアピールできるレイアウトがなされる



夕方になると、天井からのスポットライトが店の雰囲気を変えてくれる



用品棚を一周するだけでほとんどの用品を効率良く探せる

The Latest
AID

◆メインエンジンの基本データ
 全長(座高)全高 1,980mm / 1,050mm / 1,270mm
 ホール高 1,050mm
 全乾重量 178kg
 エンジン
 種類 水冷4バルブ2ストロークDOHC4バルブ12バルブ直列
 総排気量 246cc
 全長(座高)全高 1,980mm / 1,050mm / 1,270mm
 ホール高 1,050mm
 全乾重量 178kg

同じ血が流れている。

SP = RS

◆メインエンジンの基本データ
 全長(座高)全高 1,980mm / 1,050mm / 1,270mm
 ホール高 1,050mm
 全乾重量 178kg
 エンジン
 種類 水冷4バルブ2ストロークDOHC4バルブ12バルブ直列
 総排気量 246cc
 全長(座高)全高 1,980mm / 1,050mm / 1,270mm
 ホール高 1,050mm
 全乾重量 178kg

競いあったのは、SPの戦闘力です。 '93TZR250 RS



東田健也・ヤマハTZ250M
 全日本GP250ccクラス優勝
 2年連続2冠達成

◆価格 178,000円(税別)
 ◆送料 別途見積り
 ◆保証 3年無償保証
 ◆オプション 別途見積り
 ◆色 黒・白・赤
 ◆納期 約1週間

¥178,000

◆メインエンジンの基本データ
 全長(座高)全高 1,980mm / 1,050mm / 1,270mm
 ホール高 1,050mm
 全乾重量 178kg
 エンジン
 種類 水冷4バルブ2ストロークDOHC4バルブ12バルブ直列
 総排気量 246cc
 全長(座高)全高 1,980mm / 1,050mm / 1,270mm
 ホール高 1,050mm
 全乾重量 178kg

見る・見られる・いい運転。
 ●この写真があなたのイメージ

バイクめぐりひと Yuto I
 二輪 余裕人
 人とバイクの楽しい生活

YES!! 最新型 二輪車レーシングバイクの傑作
 セーフティマナー 見てよしてよされてよ

YAMAHA
 ヤマハ発動機株式会社

- レース用ベースマシンとしてのポテンシャルを追求した「TZR250R・SP」と、一般道での走りの楽しさを追求した「TZR250RS」。
- サーキットと一般道のフィールドの違いこそあれ、徹底した走りの世界を追いかけた結果、まさにニア・イコール(ほとんど同じ)の装備を身につけた2台のマシンが完成しました。
- SP仕様の直系。サーキットの性能をダイレクトに受け継ぐRSを、どうぞ本物の走りが解るお客さまにおすすめてください。

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社